第16回日本リーグ前期

大同が首位で折り返す（男子1部）

～大崎、連覇に向けて一歩リード（女子1部）～

■第16回日本リーグ前期成績（'91年10月26日～12月1日）

〔1部男子〕	湧永	日新	大同	本田	大崎	中村	三陽	三景	勝数	分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	順位
湧永製薬		●25	●22	●22	○24	○30	○26	○36	4	0	3	8	185	176	9	5
日新製鋼	○29		●19	○17	△26	○22	○28	○28	5	1	1	11	169	150	19	2
大同特殊鋼	○29	○24		●21	○29	○32	○26	○29	6	0	1	12	190	155	35	1
本田技研鈴鹿	○24	●15	○22		●19	○24	○29	○31	5	0	2	10	164	148	16	3
大崎電気	●22	△26	●26	○22		○25	○29	○25	4	1	2	9	175	157	18	4
中村荷役運輸	●28	●20	●24	●20	●20		●19	○31	1	0	6	2	162	179	-17	7
三陽商会	●24	●22	●24	●22	●19	○29		○31	2	0	5	4	171	173	-2	6
三景	●20	●18	●18	●24	●20	●17	●16		0	0	7	0	133	211	-78	8

〔1部女子〕	大崎	大和	オムロン	北国	シャトレ	日立	勝数	分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	順位
大崎電気		○35	○20	●27	○21	○32	4	0	1	8	135	104	31	1
大和銀行	●21		●12	△25	●13	○26	1	1	3	3	97	136	-39	5
オムロン	●15	○26		○30	△24	○28	3	1	1	7	123	91	32	2
北国銀行	○28	△25	●16		○19	○28	3	1	1	7	116	116	0	3
シャトレーゼ	●17	○28	△24	●13		○22	2	1	2	5	104	98	6	4
日立栃木	●23	●22	●19	●21	●21		0	0	5	0	106	136	-30	6

〔2部男子〕	トヨ自	本田熊本	電装	竹芝	大ガス	トヨ車	豊田織機	日鉄	勝数	分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	順位
トヨタ自動車		△24	○33	○35	○26	○29	○31	○34	6	1	0	13	212	160	52	1
本田技研熊本	△24		●24	△21	○28	○33	○28	○40	4	2	1	10	198	147	51	2
日本電装	●22	○28		○28	○28	●20	○22	○34	5	0	2	10	182	164	18	3
竹芝精巧	●25	△21	●26		○31	●21	●23	●25	1	1	5	3	172	188	-16	7
大阪ガス	●24	●17	●20	●28		●21	○25	○33	2	0	5	4	168	181	-13	5
トヨタ車体	●22	●21	○22	○25	○31		○25	○29	5	0	2	10	175	168	7	4
豊田自動織機	●21	●17	●21	○24	●20	●21		●25	1	0	6	2	149	182	-33	8
日鉄建材工業	●22	●19	●18	○27	●17	●23	○28		2	0	5	4	154	220	-66	6

〔2部女子〕	ブラザー	ジャスコ	ソニー	JUKI	ムネカタ	勝数	分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	順位
ブラザー工業		●16	●12	○24	○22	2	0	2	4	74	72	2	3
ジャスコ	○29		○37	○25	○34	4	0	0	8	125	59	66	1
ソニー国分	○14	●22		○17	○30	3	0	1	4	83	77	6	2
JUKI	●16	●7	●13		○19	1	0	3	2	55	81	-26	4
ムネカタ	●13	●14	●15	●15		0	0	4	0	57	105	-48	5

男子1部

◆第1週第1日（10月26日）岩手県営体育館

三陽商会 29（17－8、12－11）19 中村荷役運輸

〔戦評〕中村荷役・田口の豪快なロングシュートでスタート。三陽も浜田のロング、小河原のポストと多彩なプレーで着々と加点、守っては三陽GK高橋が無駄のないキーピングで攻撃力豊かな中村荷役を前半8点に抑え、速攻なども成功、9点差として折り返す。

後半、三陽はゆとりを持って終始、一方、中村荷役は八尾に速攻、サイドなどに光るものがあったが、大差を縮めることができなかった。

得	〔三陽〕		〔荷役〕	得
0	宇田川	GK	石井	0
0	高橋		井上	0
0	浜川	FP	田口	6
6	飯島		朴	3
5	小河原		雨宮	1
5	大坪		八尾	5
3	渡辺		元島	0
0	佐藤		高木	1
4	浜田		呉	3
6	田中		田中	0
0	ジュセッペ		栗原	0
0	湯井		田中	0
29	(1)	PT	(0)	19

〔審・大河原 池田〕

日新製鋼 26（15－9、11－17）26 大崎電気

〔戦評〕開始14秒、日新・堀田がいきなり先制。その後も力強い攻撃を見せて15－9と大きくリード。

後半に入り、大崎はサイド攻撃、土屋の速攻などで連取、13分過ぎには20－19と逆転。そのまま大崎が逃げ切るかと思われたが、日新が驚異的な粘りを見せ、残り6秒大崎・土屋のシュートをGK宇田川が止め、坂口へボールをつないで残り1秒に26－26の同点シュートを決めて引き分ける。

得	〔日新〕		〔大崎〕	得
0	篠原	GK	渡辺	0
0	宇田川		矢内	0
4	堀田	FP	大橋	1
7	武田		珍田	0
1	西山		武田	1
0	高木		首藤	6
2	甲斐		魚住	6
1	林		甲斐	4
0	池田		菅田	0
4	坂口		山内	2
4	野中		土屋	6
3	源内		宮下	0
26	(1)	PT	(5)	26

〔審・小友 谷藤〕

◆第1週第2日（10月27日）青森県民体育館

本田技研鈴鹿 22（9－10、13－11）21 大同特殊鋼

〔戦評〕開始43秒、本田の藤井が先制したが、すぐに大同が追いついて逆転、14分には7－4とする。しかし、本田もじりじりと追い上げ、10－9と大同の1点リードで前半を終わる。

後半に入っても大同が先行する展開だったが、中盤、大同の得点が止まり、14分過ぎに16－15と本田が逆転に成功。以後一進一退が続いたが、残り3分を切って大同が再び21－20と逆転する。しかし、本田は残り1分40秒に同点、そして残り30秒に田口が決めて再逆転、大接戦に終止符を打った。

得	〔本田〕		〔大同〕	得
0	高木	GK	秋吉	0
0	橋本		林	0
0	丹羽	FP	酒匂	0
2	藤井		高村	6
7	立木		朝生	2
0	福村		畑	0
1	内藤		盧	4
5	大塚		名取	0
0	梅基		末岡	7
1	田口		佐藤	1
2	平松		阿萬	1
4	山村		宇多村	0
22	(2)	PT	(4)	21

〔審・岡本 清水〕

◆第1週第2日（10月27日）三郷市総合体育館

湧永製薬 36（19－11、17－8）20 三景

〔戦評〕立ち上がり、湧永・玉村の連続得点で4－1とリード、しかし三景も平均身長で7cm近くも差がある体格のハンデをスピードのあるパスワークと走りで反撃、8－8、9－9と互角の攻防。しかし、前半残り10分を切ってから三景の速い動きに慣れた湧永ディフェンスが連続速攻で波に乗り、一気に7連続得点と引き離し、前半19－11で終了。

後半、出だしから湧永3連続得点のスタート。三景も何とか高橋、斉藤らの得点で返すも単発で、ぶ厚い湧永のディフェンスの壁を攻め切れず、苦しいシュートやミスから速攻で失点、勝機をつくれないまま36－17でタイムアップ。

得	〔湧永〕		〔三景〕	得
0	井藤	GK	中村	0
0	多田		石井	0
3	酒巻	FP	斉藤	4
10	玉村		高橋	3
6	堀田		金井	2
3	新井		清田	4
6	長沢		小金山	0
4	荷川取		木藤	0
1	奥田		高橋	0
1	松本		小野	2
1	田中		近藤	2
1	杉山		福生	3
36	(1)	PT	(1)	20

〔審・宮沢 土屋〕

◆第2週第1日（11月2日）四日市市体育館

日新製鋼 17（4－9、13－6）15 本田技研鈴鹿

〔戦評〕両チームともシュートミスが多く、15分で3－3のロースコアー。その後本田が6点連取しGK橋本の好守もあって前半を9－4とリードする。

後半に入り、本田が日新の積極的ディフェンスを攻めあぐむ間に日新が6点を連取して一気に10－10の同点に追いつく。本田もよく踏んばって15分には13－10とリードを奪ったが守り切れず、日新は相手のミスをついて逆速攻などで6点連取して逆転、本田の追撃をふり切って勝利を収めた。

得	〔日新〕		〔本田〕	得
0	篠原	GK	高木	0
0	宇田川		橋本	0
4	堀田	FP	丹羽	1
3	武田		藤井	2
[illegible]	西山		立木	2
[illegible]	高木		福村	0
1	甲斐		内藤	2
0	林		大塚	2
0	池田		梅基	1
1	坂口		田口	2
1	野中		平松	1
4	源内		山村	2
17	(0)	PT	(0)	15

〔審・日比 川合〕

◆第2週第2日（11月3日）湯沢高校体育館

大同特殊鋼 26（13－11、13－13）24 三陽商会

〔戦評〕立ち上がりから両チームスロースタートの展開で、一進一退の攻防でペースをつかみきれないまま終盤まで進むが、大同がやや一歩リードの形で前半を終了。

後半立ち上がり、三陽にゲットされ13－12となるもすかさず大同が3点連取し、一気に主導権を握った。じりじりと加点する大同に対し必死に食い下がる三陽は、20分に23－20と3点差に詰め寄ったが、大同が末岡の3点連続ゲットでふり切った。28分に大同が2人の退場者を出し、その間に3点連取し2点差としたが及ばなかった。

得	〔大同〕		〔三陽〕	得
0	秋吉	GK	藤原	0
0	林		高橋	0
1	酒匂	FP	浜川	0
2	高村		飯島	4
1	朝生		小河原	4
1	畑		大坪	3
7	盧		渡辺	4
0	名取		佐藤	0
11	末岡		浜田	2
2	佐藤		田中	6
0	阿萬		近藤	0
1	宇多村		湯井	1
26	(2)	PT	(3)	24

〔審・小友 谷藤〕

湧永製薬 24（12－12、12－10）22 大崎電気

〔戦評〕前半、両チームとも力対力で五角の展開で終始。終盤、大崎のペースになりかけたところをプレーイングマネージャーの井藤にGKが替わり、ファインプレーの連続で流れを変えて踏みとどまり12－12とした。
　後半立ち上がりPTを得て一歩抜け出してからは湧永のペースとなり、大崎が必死に追いすがる展開となったが、じりじりと点差を広げた湧永が、終盤大崎の猛追をふり切り、辛くも逃げ切った。

	〔大崎〕	得	〔湧永〕	得
GK	渡辺	0	井藤	0
GK	矢内	0	多田	0
FP	大橋	0	酒巻	6
FP	武田	1	玉村	4
FP	首藤	3	堀田	3
FP	魚住	4	新井	0
FP	甲斐	1	長沢	7
FP	菅田	0	荷川取	1
FP	山内	4	鎌塚	0
FP	柏崎	0	奥田	3
FP	土屋	4	松本	0
FP	宮下	5	田中	0
PT	(2)	22	(2)	24

〔審・岡本 清水〕

◆第2週第2日（11月3日）
東根市体育館

中村荷役運輸 31（17－7、14－10）17 三景

〔戦評〕中村荷役が持ち前のロング、セット、サイドとよく出し、着々と得点を重ねる。序盤は三景も互角の展開を見せたが、中盤から全く攻めあぐみ、じりじりと引き離され、17－7と前半で大差がついた。
　後半に入っても中村ペースで始まり、10分には25－10と差は広がる。三景も終盤懸命に反撃を見せたが、得点差が大きく如何ともしがたかった。

	〔三景〕	得	〔荷役〕	得
GK	中村	0	石井	0
GK	石井	0	井上	0
FP	斉藤	5	田口	4
FP	高橋	0	朴	4
FP	金井	1	雨宮	7
FP	清田	2	八尾	2
FP	小金山	1	元島	0
FP	木原	0	高木	5
FP	高橋	1	呉	8
FP	小野	2	田中	1
FP	近藤	2	栗原	0
FP	福士	3	田中	0
PT	(2)	17	(1)	31

〔審・仲田 植村〕

◆第3週第1日（11月9日）
岐阜県民体育館

大同特殊鋼 29（13－13、16－13）26 大崎電気

〔戦評〕大同・佐藤のサイドシュートで始まった試合は、魚住のパワフルなロングを柱に攻める大崎と盧を中心に組み立てる大同の息づまる攻防で一進一退のまま前半を終了。後半も同様の展開であったが、8分過ぎ、大同・高村をはじめ3連続速攻で21－17と4点差をつけペースをつかんだ。大崎も宮下の速攻などで1点差まで迫るが、大同に先手先手をとられ追いつけない。20分過ぎ、大崎はミスでボールを失い、再び3点差をつけられ大同に逃げ切られた。

	〔大崎〕	得	〔大同〕	得
GK	渡辺	0	秋吉	0
GK	矢内	0	林	0
FP	武田	0	高村	6
FP	首藤	9	朝生	2
FP	中田	0	畑	0
FP	魚住	8	盧	8
FP	甲斐	3	名取	0
FP	菅田	4	林	1
FP	山内	0	末岡	9
FP	柏崎	0	佐藤	3
FP	土屋	1	阿萬	0
FP	宮下	1	宇多村	0
PT	(4)	26	(4)	29

〔審・細沢 清水〕

本田技研鈴鹿 24（13－10、11－10）20 中村荷役運輸

〔戦評〕呉のロングで中村は先行するが、本田のエース立木の3連続ゴールなどで12分まで6－3と本田がリードする。その後、本田は単発ロングが多く、リードを広げることができず、中村の朴、八尾の速攻で追い上げる。しかし、本田は平松のロングなどで13－10として前半を終えた。
　後半立ち上がり、八尾の連続速攻で1点差まで詰め寄るが、本田も内藤の速攻、ポストなどで3点差をキープ。15分過ぎから本田は立木のロングなどでペースを握り逃げ切った。

	〔荷役〕	得	〔本田〕	得
GK	石井	0	高木	0
GK	井上	0	橋本	0
FP	田口	5	丹羽	0
FP	朴	5	藤井	2
FP	雨宮	1	立木	8
FP	八尾	4	福村	2
FP	元島	0	内藤	3
FP	高木	1	大塚	0
FP	呉	4	田口	3
FP	田中	0	平松	2
FP	栗原	0	山村	4
FP	田中	0	香西	0
PT	(2)	20	(2)	24

〔審・岩本 板倉〕

◆第3週第2日（11月10日）
東海市体育館

大同特殊鋼 29（16－8、13－10）18 三景

〔戦評〕前半、大同は盧、林を中心とした力強いコンビネーションから得点を重ねリードを広げた。三景も大同のミスをつき速攻で返すが、追いつめるまでには至らない。前半は16－8と大同が8点をリードして終了した。
　後半、三景は出だし韓国コンビのロングを防ぎながら逆速攻で得点をする。中盤、高村のポストをからめながらの大同の攻撃は、盧、林のロングも冴え、大勢が決した。後半に入って、ようやく三景・高橋、金井のステップシュートやポストシュートが決まり出し、三景の反撃で会場も大いに盛り上がったが、大同GK秋吉の好守からの速攻、末岡のポストなどで突き放した。

	〔三景〕	得	〔大同〕	得
GK	中村	0	秋吉	0
GK	石井	0	林	0
FP	斉藤	0	酒匂	0
FP	高橋	5	高村	2
FP	金井	3	朝生	2
FP	清田	5	畑	0
FP	小金山	1	盧	4
FP	木原	0	名取	1
FP	高橋	0	林	6
FP	小野	2	末岡	8
FP	近藤	1	佐藤	4
FP	福士	1	宇多村	2
PT	(2)	18	(5)	29

〔審・岩本 飼沼〕

◆第3週第3日（11月11日）東京体育館

湧永製薬 30 〔17－15 / 13－13〕 28 中村荷役運輸

〔戦評〕中村は雨宮の速攻で先行し、呉の活躍で14分まで7－7と善戦していたが、田口の退場の間にリードを許す。その後も一進一退を続け、前半17－15と湧永リードで終了。後半に入っても展開は変わらず湧永は河原、河原、長沢と3回の退場を出したにもかかわらず守り強いところを見せる。逆に中村・雨宮退場の間にポスト荷川取が2点を連取し、20分で26－22と湧永はリードを広げた。中村も呉、八尾、雨宮のシュートで追い上げるが、湧永・酒巻のミドルシュートで30－28と逃げ切られた。

得	〔湧永〕		〔荷役〕	得
0	井藤	GK	石井	0
0	多田	GK	井上	0
8	酒巻	FP	田口	4
4	河原	FP	朴	3
4	玉村	FP	雨宮	6
5	堀田	FP	八尾	4
0	新井	FP	元島	0
1	長沢	FP	高木	3
6	荷川取	FP	呉	8
0	鎌塚	FP	田中	0
1	松本	FP	栗原	0
1	杉山	FP	田中	0
		審・島田 浜田		
30	(1)	PT	(2)	28

◆第3週第4日（11月12日）東京体育館

本田技研鈴鹿 31 〔18－10 / 13－14〕 24 三景

〔戦評〕序盤より三景は斉藤を中心にパスをつなげるが、本田のセンターディフェンスのラインの高さと寄せの早さに苦しめられ、ふり切ったシュートが打ち切れない。そのボールを本田が着実に速攻に結びつけ、セットオフェンスも山村らが前半早々より加点し、本田の8点リードで折り返した。

後半に入り、三景のフットワークを生かしたフォローディフェンスが効果を出し始め、速攻を連続させて追い上げた。しかし、本田も田口を中心とした多彩なセットプレーで得点し、結局31－24で本田が快勝した。

得	〔本田〕		〔三景〕	得
0	高木	GK	中村	0
0	橋本	GK	石井	0
4	丹羽	FP	高橋	8
2	立木	FP	金井	4
3	福村	FP	清田	2
2	内藤	FP	小金山	1
2	大塚	FP	木原	0
0	田口	FP	高橋	0
6	平松	FP	小野	2
8	山村	FP	吉野	0
2	香西	FP	近藤	4
2	関根	FP	福士	3
		審・川口 兼田		
31	(4)	PT	(5)	24

大崎電気 29 〔16－10 / 13－9〕 19 三陽商会

〔戦評〕三陽はオープンスペースに走り込むポストに合わせボールを通し、そこから出るパスに合わせてシュートをねらう攻めに飯島、田中らをからませた得点。一方大崎は、魚住、首藤、宮下の外側からのシュートに菅田のポストを効果的に使い、さらにサイドプレーヤーのテクニカルなシュートをおりまぜた両チームの特色のある攻めの応酬の結果、前半は大崎が競り勝ち、16－10で終了した。

後半に入り、立ち上がり早々大崎GK渡辺が好守を連続させ、勢いに乗った大崎が一気に加点し、開始後10分で22－11とし、試合を決めた。その後両チームそれぞれ得点を重ねたが、GKを含めたディフェンス力の安定感のあった大崎の速攻が三陽を上回り29－19で終了した。

得	〔大崎〕		〔三陽〕	得
0	渡辺	GK	宇田川	0
0	矢内	GK	高橋	0
0	大橋	FP	浜川	0
3	首藤	FP	飯島	5
0	中田	FP	小河原	3
8	魚住	FP	大坪	1
0	甲斐	FP	渡辺	3
3	菅田	FP	佐藤	0
2	山内	FP	浜田	2
0	柏崎	FP	田中	5
8	土屋	FP	近藤	0
5	宮下	FP	湯井	0
		審・島田 浜田		
29	(2)	PT	(1)	19

◆第4週第1日（11月16日）三好公園総合体育館

大同特殊鋼 29 〔16－13 / 13－9〕 22 湧永製薬

〔戦評〕試合開始直後、大同・佐藤のサイドシュートが決まり、2分後には大同の盧の速攻が決まって大同ペースかと思われたが、湧永も荷川取のロングシュート、玉村のPTを決め追い上げた。大同は盧を中心としたパス回しから盧のロングシュート、林のロングシュートで得点を重ね、湧永は玉村のロングシュートで得点、一進一退の展開となった。20分過ぎに大同・末岡の速攻が連続して決まり前半を3点差とした。

後半も前半と同じく一進一退の展開であったが、大同・高村の速攻、ポストシュートが連続して決まり湧永を突き放した。

得	〔大同〕		〔湧永〕	得
0	秋吉	GK	井藤	0
0	林	GK	多田	0
6	高村	FP	酒巻	4
2	朝生	FP	河原	1
0	畑	FP	玉村	8
4	盧	FP	堀田	2
0	名取	FP	新井	0
3	林	FP	長沢	1
8	末岡	FP	荷川取	4
6	佐藤	FP	鎌塚	1
0	阿萬	FP	奥田	1
0	宇多村	FP	田中	0
		審・川合 日比		
29	(3)	PT	(2)	22

◆第4週第2日（11月17日）緑ケ丘体育館

日新製鋼 22 〔11－11 / 11－9〕 20 中村荷役運輸

〔戦評〕前半立ち上がりから両チームとも個人技で得点を重ね、好ゲームを展開、11－11の同点で前半を終了する。

後半開始後、中村が4点をたて続けに取るが、日新も逆に4点を連取して追いつき白熱したゲーム展開となる。残り2分に日新が20－20の同点に追いつき、30秒を切ってから2点を連取して突き放した。

得	〔日新〕		〔荷役〕	得
0	篠原	GK	石井	0
0	宇田川	GK	井上	0
4	堀田	FP	田口	3
6	武田	FP	朴	1
2	西山	FP	雨宮	6
0	高木	FP	八尾	3
2	甲斐	FP	元島	0
0	林	FP	高木	1
0	池田	FP	呉	6
2	坂口	FP	田中	0
3	野中	FP	栗原	0
3	源内	FP	田中	0
		審・上小沢 市瀬		
22	(2)	PT	(2)	20

◆第4週第2日（11月17日）福井県立体育館

大崎電気 25 〔11－9 / 14－11〕 20 三景

〔戦評〕前半、大崎の高いディフェンスにもかかわらず1点を争う好ゲーム。中盤以降、エース首藤のシュートで大崎が引き離しにかかるが、三景もよく食らいついていき、2点差で前半を終了。

後半、退場者の続出する激しい試合となるが、力に勝る大崎がじわじわと点差を広げ引き離しにかかる。三景も追い上げ体勢に入るも大崎の堅いディフェンスを破れず大崎が逃げ切った。

得	〔大崎〕		〔三景〕	得
0	渡辺	GK	中村	0
0	矢内	GK	石井	0
0	大橋	FP	高橋	3
0	珍田	FP	金井	4
1	武田	FP	清田	4
7	首藤	FP	小金山	3
6	魚住	FP	木原	0
3	甲斐	FP	高橋	0
3	菅田	FP	小野	4
3	山内	FP	吉野	0
0	柏崎	FP	近藤	1
2	土屋	FP	福士	1
		審・浜野 阿部羅		
25	(4)	PT	(3)	20

◆第4週第2日（11月17日）
岡崎市体育館

本田技研鈴鹿 29（13－9、16－13）**22 三陽商会**

〔戦評〕本田・橋本、三陽・高橋の両GKのキーピング合戦となったが、本田・平松のサイドシュート、立木のミドルシュートなどでリードを広げ、対する三陽は小河原のポストシュート、飯島のカットインシュートなどで応戦し、13－9と本田がリードして前半を終えた。

後半に入り、左右への速いパス回しから山村、大塚のサイドシュートで得点を重ねる本田。三陽も濱田のロングシュートなどを軸にして展開するが及ばなかった。

得	〔本田〕		〔三陽〕	得
0	高木	GK	宇田川	0
0	橋本		高橋	0
3	丹羽	FP	濱川	3
3	藤井		飯島	5
4	立木		小河原	4
0	福村	審・中野 松原	大坪	0
4	内藤		渡辺	3
1	大塚		佐藤	0
0	田口		濱田	3
7	平松		田中	3
7	山村		近藤	0
0	香西		湯井	1
29	(5)	PT	(3)	22

◆第5週第1日（11月23日）
金沢市総合体育館

湧永製薬 26（14－10、12－14）**24 三陽商会**

〔戦評〕前半立ち上がりで3連続得点と突き放しにかかる湧永を三陽GK高橋の好守から乗ったプレーで得点をあげ、前半を3点差で食い止めた。

後半も三陽のペースは続き、6分には15－14と逆転。しかし、湧永も酒巻から荷川取へのポストパスや早いパス回しからシュートを重ね、一進一退のゲームが続いた。結果は26－24で湧永が逃げ切ったが、湧永にとっては玉村の欠場が響き、展開力に乏しいゲームであった。

得	〔湧永〕		〔三陽〕	得
0	井藤	GK	宇田川	0
0	多田		高橋	0
4	酒巻	FP	濱川	1
6	河原		飯島	3
4	堀田		小河原	2
1	新井	審・阿部羅 浜野	大坪	2
1	長沢		渡辺	7
4	荷川取		佐藤	0
4	鎌塚		濱田	3
1	奥田		田中	6
1	松本		近藤	0
0	田中		湯井	0
26	(4)	PT	(3)	24

日新製鋼 28（15－8、13－10）**18 三景**

〔戦評〕日新の高さに対して三景の小わざがどこまで通ずるかということにゲームのポイントはおかれていたが、日新・野中のジャンプシュートなど高さを生かしたプレーなどで圧倒した。

技巧には光るものを見せた三景であったが及ばなかった。

得	〔日新〕		〔三景〕	得
0	篠原	GK	中村	0
0	宇田川		石井	0
5	堀田	FP	高橋	3
3	武田		金井	8
2	西山		清田	0
1	甲斐	審・中山 小坪	小金山	2
4	林		木原	0
2	池田		高橋	0
1	坂口		小野	0
2	千葉		吉野	0
5	野中		近藤	1
3	源内		福士	4
28	(2)	PT	(4)	18

◆第5週第1日（11月23日）
福島体育館

大崎電気 22（15－10、7－9）**19 本田技研鈴鹿**

〔戦評〕前半、2分過ぎにようやく本田・平松が先制する。しかしすぐに大崎・首藤が決めると中盤大崎がじりじりと引き離しにかかる。本田も内藤、平松ががんばるが、15－10と大崎が5点をリードして前半を終わる。

後半に入り、本田は大崎ディフェンスを攻めあぐみ、実に立ち上がり13分間無得点。その間18－10とリードを広げられゲームの大勢は決した。中盤から本田も反撃を見せて追い上げたが及ばず、22－19で終わった。

得	〔大崎〕		〔本田〕	得
0	渡辺	GK	高木	0
0	矢内		橋本	0
0	大橋	FP	丹羽	2
3	武田		藤井	0
10	首藤		立木	1
1	魚住	審・中島 高野	福村	0
4	甲斐		内藤	5
2	菅田		大塚	0
1	山内		梅基	0
0	柏崎		田口	1
0	土屋		平松	6
1	宮下		山村	4
22	(3)	PT	(1)	19

◆第5週第[illegible]（11月24日）
高岡市民体育館

三陽商会 31（18－8、13－8）**16 三景**

〔戦評〕開始早々、三陽は飯島の豪快なミドル2連発と速攻などで3分には3－0とリード。その後も田中らの速攻などで加点、守っては地元GK高橋の好守も手伝ってペースをつかむ。一方三景は、金井らの巧みにディフェンスをかわすフェイントからの攻撃で追い上げるが、濱田をトップにおいた三陽の1・5ディフェンスを攻めあぐみ、前半を18－8で折り返す。

後半に入って三景は福士のサイドシュートが決まりだして反撃にでるが、三陽はこの日12得点と大活躍の飯島、さらに田中が続き快勝した。

得	〔三陽〕		〔三景〕	得
0	藤原	GK	中村	0
0	高橋		石井	0
0	濱川	FP	高橋	3
12	飯島		金井	3
1	小河原		清田	1
3	大坪	審・中山 小坪	小金山	1
3	渡辺		木原	0
4	濱田		高橋	0
7	田中		小野	2
1	ジュセッペ		吉野	0
0	近藤		近藤	2
0	湯井		福士	4
31	(1)	PT	(2)	16

日新製鋼 29（13－12、16－13）**25 湧永製薬**

〔戦評〕湧永・酒巻のミドルで始まった試合は、スタートから湧永が有利に試合を進めたように見ら

れた。しかし、日新も宇田川の好キープから甲斐のサイドシュート、坂口のロングシュートなどの活躍によって一進一退の攻防を広げる。前半25分まで13―9と日新が有利に進めたが、湧永・奥田の速攻、カットインなどで3連取して1点差まで追い上げる。

得	〔日新〕		〔湧永〕	得
0	篠原	GK	井藤	0
0	宇田川		多田	0
5	堀田	FP	酒巻	4
5	武田		河原	5
2	西山		堀田	3
0	高木	〔審・阿部羅・浜野〕	新井	0
3	甲斐		長沢	2
4	林		荷川取	3
0	池田		鎌塚	3
3	坂口		奥田	5
0	野中		松本	0
7	源内		田中	0
29	(5)	PT	(3)	25

後半、湧永の痛い退場から日新が確実にシュートを決め、10分過ぎには19―14とした。湧永も加点はするが、いつもの波状攻撃もこの日はあまり出せず、セットで失点すると乗り切れないという弱点をさらけ出した格好となった。

◆第5週第2日（11月24日）
都城市体育文化センター体育館

大同特殊鋼 32 〔13―12／19―12〕 24 中村荷役運輸

〔戦評〕前半立ち上がりから大同ディフェンス陣のスキをぬって中村はロング、速攻、カットインと決めて一気に11―6とリードした。20分過ぎからやっと固さのとれた大同は、林を中心にディフェンスのコンビ、動きが良くなり立ち直って残り10分間8連続得点で逆転して前半終了。

後半も大同は4点差とリードを広げ、中村は呉のロングシュートで対抗するが、今ひとつ前半のような攻撃のからみが見られずじまい。一方の大同は盧、林のロングやアシストプレー、高村のポストシュートで突き放し、勝負を決めた。

得	〔大同〕		〔荷役〕	得
0	秋吉	GK	石井	0
0	林		井上	0
6	高村	FP	田口	0
2	朝生		朴	6
0	畑		雨宮	3
4	盧	〔審・松村・中村〕	八尾	2
2	名取		元島	6
7	林		高木	0
7	末岡		岩戸	0
4	佐藤		呉	7
0	阿萬		栗原	0
0	宇多村		田中	0
32	(4)	PT	(3)	24

◆第6週第1日（11月30日）
徳山市体育館

日新製鋼 28 〔11―11／17―11〕 22 三陽商会

〔戦評〕先取点は日新・武田があげた。その後、坂口の高打点シュート、三陽は飯島のミドル、速攻、浜田のミドルで3―3。三陽は浜田、田中で加点、日新は三陽の守りに攻めあぐみ、ミスも出て20分まで9―5と三陽がリード。その後、日新は西山のPT、野中のミドル、坂口のロングなどで25分に同点、さらにGK宇田川の好守から源内が速攻を決め一気に逆転。三陽は日新ディフェンスに攻めのペースを崩されながらもGK高橋の好守で前半を11―11の同点で折り返した。

後半は、日新・源内のサイドからのループでリードするが、三陽も武田が退場したスキに田中のシュートが決まり12―12。しかし、日新は甲斐のサイド、堀田のPT、野中の速攻で3点をリード。その後互いに点を取り合っての一進一退が続いたが、日新が少しずつリードを広げ、28―22で逃げ切った。

得	〔日新〕		〔三陽〕	得
0	谷	GK	宇田川	0
0	宇田川		高橋	0
4	堀田	FP	濱川	0
2	武田		飯嶋	6
5	西山		小河原	0
0	高木	〔審・山根・岡村〕	大坪	0
4	甲斐		渡辺	5
3	林		佐藤	1
0	池田		濱田	4
2	坂口		田中	6
2	野中		近藤	0
6	源内		湯井	0
28	(3)	PT	(2)	22

◆第6週第2日（12月1日）
日新製鋼呉体育館

大同特殊鋼 24 〔11―8／13―11〕 19 日新製鋼

〔戦評〕まず日新のスローオフで攻めたが、大同の高いディフェンスに手こずり、大同は日新GK宇田川の好守により10分で2―1。大同は守って速攻のパターンで2点連取。日新も宇田川の好守からの攻撃で得点、お互いディフェンスにチームカラーを出していたが、25分、日新のミスプレーから連続3失点して11―8と大同の3点リードで前半終了。

後半、いきなり日新・西山のPTが決まり2点差としたが、日新ディフェンスが荒くなり10分には5点差がついた。以後、大同・林のミドルが要所で決まり、日新はセットオフェンスで西山のロングシュートで対抗するも差は縮まらず、24―19でタイムアップ。

得	〔大同〕		〔日新〕	得
0	秋吉	GK	篠原	0
0	林		宇田川	0
2	高村	FP	堀田	1
0	朝生		武田	2
0	畑		西山	3
7	盧	〔審・武智・松原〕	高木	0
1	名取		甲斐	3
8	林		林	1
5	末岡		木村	1
2	佐藤		坂口	2
0	阿萬		野中	1
0	宇多村		源内	5
24	(2)	PT	(3)	19

◆第6週第2日（12月1日）
香川町総合体育館

本田技研鈴鹿 24 〔11―12／13―10〕 22 湧永製薬

〔戦評〕開始から山村のサイドシュートなどで得点を重ねた本田のペースで始まった。対する湧永は速攻、カットイン、ブラインドシュートなど多彩な攻めで得点し追い上げた。20分過ぎに2本のボールカットからの速攻を決めた湧永が逆転し、その後両チーム点を取り合って12―11と湧永の1点リー

ドで前半を折り返した。
後半の立ち上がり、今度は湧永が3連続得点して流れをつかむ。中盤、本田は連続して2人の退場者を出し苦しい情況になったが、GK橋本が4本のPTを阻止するなど好守をみせ、逆に山村のサイドなどで加点し、24分には同点に追いついた。その後、本田がリードして湧永が追いつく展開となったが、残り1分、オールコートプレスに出た湧永ディフェンスをふり切り内藤が得点して2点差とし試合を決めた。

得	〔湧永〕		〔本田〕	得
0	井藤	GK	高木	0
0	多田	GK	橋本	0
8	酒巻	FP	丹羽	2
0	河村	FP	藤井	0
2	玉村	FP	立木	4
1	堀田	FP	福村	0
4	長沢	FP	内藤	2
3	荷川取	FP	大塚	4
0	鎌塚	FP	梅基	0
1	奥田	FP	田口	0
0	松本	FP	平松	4
3	田中	FP	山村	8
22	(2)	PT	(1)	24

〔審・多田・杉山〕

◆第6週第2日（12月1日）古川市総合体育館

大崎電気 25（15－9、10－11）20 中村荷役運輸

〔戦評〕両チームとも前期最終戦でもあり立ち上がりから白熱したゲーム展開となった。大崎・宮下、中村・呉のロングシュートを中心にスピーディなゲーム展開となった。前半残り7分までは1点を争う好ゲームで10－9と大崎がリード。以降、中村がミスを重ね無得点。逆に大崎は着々と5得点で、結果15－9と大崎リードで折り返した。
後半は、懸命に追いすがる中村に対して大崎は矢内を中心にディフェンスにウエイトを置くゲーム運びを行い、前半のリードを保ち粘る中村をふり切った。

得	〔荷役〕		〔大崎〕	得
0	石井	GK	渡辺	0
0	井上	GK	矢内	0
4	田口	FP	大橋	1
1	朴	FP	珍田	0
0	雨宮	FP	武田	1
3	八尾	FP	首藤	4
2	元島	FP	魚住	5
1	高木	FP	甲斐	4
0	岩戸	FP	菅田	2
9	呉	FP	山内	1
0	栗原	FP	土屋	1
0	田中	FP	宮下	6
20	(3)	PT	(2)	25

〔審・小友・谷藤〕

女子1部

◆第1週第1日（10月26日）岩手県体育館

シャトレーゼ 22（13－9、9－12）21 日立栃木

〔戦評〕シャトレーゼはポスト小野寺のピボットシュートがよく決まり、前半で6得点をあげる大活躍を見せる。日立栃木も尾苗のロングシュート、飯塚のフェイントからのシュート、市来のカットインと充分な力を発揮、互角に展開する。後半の残り10分50秒、日立が市来の速攻で17－17の同点に追いつき大いに盛り上がる。しかしシャトレーゼも松沢、小野寺、山岸とよくしのぎ、辛くも22－21と1点差で逃げ切った。

得	〔日立〕		〔シャト〕	得
0	梅津	GK	鈴木	0
0	坂本	GK	村山	0
0	吉鶴	FP	小松	4
5	新井	FP	生方	2
2	柳田	FP	山岸	3
4	飯塚	FP	松沢	3
3	尾苗	FP	小林	0
6	市来	FP	小野寺	7
0	岡田	FP	小俣	2
1	堤	FP	成田	0
0	小柏	FP	小友	0
0	貴田	FP	鎌田	1
21	(1)	PT	(2)	22

〔審・阿部羅・浜野〕

◆第1週第2日（10月27日）三郷市総合体育館

大崎電気 20（10－8、10－7）15 オムロン

〔戦評〕両チームとも緊張した立ち上がりから2分過ぎ、尹の右からのミドルシュートで大崎電気が先制する。オムロンのよく足の動くディフェンスに対し、大崎は尹の連続5得点などで得点を重ねる。一方オムロンは、大崎の高いディフェンスにセットで得点することが難しく、ディフェンスを頑張り速攻で得点を重ねる。前半は10－8と大崎リードで終わる。
後半に入り、オムロンは尹をマンツーマンで守ることにより両チームとも一進一退の攻防を続ける。後半22分過ぎ、大崎はオムロンの一瞬のスキをつき尹、梅原の走り込んでのロングが決まり、オムロンを引き離し勝敗を決定づけた。

得	〔オム〕		〔大崎〕	得
0	川島	GK	南雲	0
0	城下	GK	宗片	0
2	西村	FP	藤井	1
1	中山	FP	前川	2
1	武津	FP	梅原	3
0	古田	FP	江口	1
8	比嘉	FP	鷲宮	0
0	橋本	FP	野田	0
0	斎藤	FP	金	1
0	吉田	FP	尹	1
3	石村	FP	伝法谷	0
0	イエーカ	FP	酒井	0
15	(4)	PT	(3)	20

〔審・中山・大出〕

◆第1週第2日（10月27日）青森県民体育館

大和銀行 25（18－18、7－7）25 北国銀行

〔戦評〕前半立ち上がり、北国銀行の矢野が先制、以後一進一退の展開。一時期は北国が4点のリードを奪うが、大和も前半残り時間5分を切ってじりじりと追い上げ、18－18の同点で折り返す。

得	〔大和〕		〔北国〕	得
0	岡田	GK	木戸	0
0	上田	GK	岩井	0
1	瀬川	FP	上田	3
9	小池	FP	矢野	2
2	伊藤	FP	西川	0
1	日野	FP	松下	2
0	高尾	FP	谷本	4
1	又吉	FP	森	2
1	西口	FP	北川	0
4	山尾	FP	金	5
3	竹田	FP	松田	5
3	木口	FP	釣川	2
25	(3)	PT	(3)	25

〔審・町屋・佐々木〕

後半は互いに得点が伸びず、結局同点のまま試合終了。

◆第2週第1日（11月2日）四日市市体育館

オムロン30（13−9、17−7）**16北国銀行**

〔戦評〕長身グデリエを中心に固い守りで北国のロングシュートを阻み、攻撃でもグデリエの連続ロングでオムロンが先行するが、北国もGKの好守から速攻につなげ谷本の3連続得点で同点とする。中盤になり接戦が続いたが、オムロンのサイド攻撃が決まり、4点リードして前半を終了する。

後半に入ってもオムロンの完璧な守りで得点を許さず、相手ミスを誘い逆速攻につなげ4連続得点で8点リードし勝負を決めた。

得	〔オム〕		〔北国〕	得
0	川島	GK	木戸	0
0	城下	GK	古沢	0
5	西村	FP	上田	1
4	中山	FP	矢野	0
4	武津	FP	西川	2
1	古田	FP	松下	1
8	比嘉	FP	谷本	5
0	橋本	FP	森	1
1	斉藤	FP	北川	1
4	石村	FP	金	4
3	グデリエ	FP	松田	1
0	シャーミヤ	FP	坂井	0
30	(3)	PT	(2)	16

〔審・岩本 板倉〕

◆第2週第2日（11月3日）湯沢高校体育館

大崎電気32（18−11、14−12）**23日立栃木**

〔戦評〕開始30秒、金のポストで先制した大崎ではあったが、日立の堅いディフェンスに攻めあぐみ、中盤まで一進一退をくり返したが、金の巧みなパスワークで突破口を開き、梅村らのシュートで5点連続し主導権を握った。後半に入って日立はじりじりと追い上げ、18分には4点差まで追い上げゲームを盛り上げたが、大崎・金、尹の韓国コンビの活躍で逃げ切った。

得	〔大崎〕		〔日立〕	得
0	南雲	GK	梅津	0
0	宗片	GK	坂本	0
1	藤井	FP	吉鶴	1
5	前川	FP	新井	6
7	梅原	FP	柳田	2
1	江口	FP	飯塚	3
0	鷲宮	FP	尾苗	4
0	野田	FP	市来	3
8	金	FP	岡田	0
10	尹	FP	堤	2
0	伝法谷	FP	小柏	1
0	酒井	FP	貴田	1
32	(4)	PT	(2)	23

〔審・高野 中島〕

◆第2週第2日（11月3日）東根市体育館

シャトレーゼ28（13−5、15−8）**13大和銀行**

〔戦評〕2分過ぎにシャトレーゼ・山岸が先制、以後、小松、山岸、小林とシャトレーゼが着々と加点、20分過ぎには9−1と大きくリードを奪う。前半終了近くなって大和も反撃するが、点差を縮めるまでには至らず、13−5で前半を終える。後半に入ってもシャトレーゼのペースは変わらず、着々とリードを広げ、28−13の大差で勝利を握った。

得	〔シャト〕		〔大和〕	得
0	鈴木	GK	岡田	0
0	村山	GK	上田	0
5	小松	FP	瀬川	0
2	生方	FP	小池	2
13	山岸	FP	伊藤	0
1	松沢	FP	日野	3
1	野沢	FP	松田	1
1	小林	FP	又吉	1
0	小野寺	FP	西口	2
3	合田	FP	山尾	1
0	小俣	FP	竹田	1
2	鶴田	FP	木口	2
28	(4)	PT	(1)	13

〔審・小笠原 江成〕

◆第3週第1日（11月9日）岐阜県民体育館

シャトレーゼ24（12−13、12−11）**24オムロン**

〔戦評〕立ち上がりオムロンは中山のサイドシュート、比嘉の速攻、グデリエのロングシュートで着実に得点を重ね、前半6分までに6−0とリードする。その後、シャトレーゼの松沢、山岸のシュートを軸に得点を重ねる。25分には同点とした。しかし、28分過ぎのオムロン・グデリエのロングシュートにより1点リードし前半を終わる。後半はシャトレーゼ・生方の得点に始まり、追いつ追われつの1点を争う好ゲームとなった。終了間際シャトレーゼ・小松の同点シュートが決まり引き分ける。

得	〔オム〕		〔シャト〕	得
0	川島	GK	鈴木	0
0	城下	GK	村山	0
3	西村	FP	小松	5
6	中山	FP	生方	5
3	武津	FP	山岸	4
0	古田	FP	松沢	6
3	比嘉	FP	野沢	0
0	橋本	FP	小林	0
0	斉藤	FP	小野寺	1
2	石村	FP	合田	3
7	グデリエ	FP	千葉	0
0	シャーミヤ	FP	鶴田	0
24	(0)	PT	(4)	24

〔審・家永 浅井〕

◆第3週第2日（11月10日）東海市体育館

北国銀行28（16−16、12−11）**27大崎電気**

〔戦評〕前半、北国の快調なペースで試合が展開。5分で6−3と北国がリード。その後ようやくペースをつかみ始めた大崎が徐々に得点を重ね10分に6−6と追いついた。その後も北国のスピードに大崎のコンビネーションとお互いにチームカラーの出た戦いとなった。前半15分過ぎ、セットで大崎が3点連取し、引き離すかと見えたが、大崎のミスから北国が速攻で3点返し、一進一退の同点で前半を終了。後半、尹のロング、金のフェイントからのカットインなどで大崎が3点を連取し、大崎ペースで始まった。しかし、10分過ぎに北国が逆転。大崎は金を中心としたコンビネーション、北国はスピードとお互いのカラーの出た戦いとなったが、結局1点差で北国が逃げ切った。

得	〔北国〕		〔大崎〕	得
0	木戸	GK	南雲	0
0	岩井	GK	宗片	0
0	上田	FP	藤井	4
0	矢野	FP	前川	1
0	西川	FP	梅原	9
9	松下	FP	江口	0
6	谷本	FP	鷲宮	0
2	森	FP	野田	0
0	北川	FP	金	9
9	金	FP	尹	4
2	松田	FP	伝法谷	0
0	釣川	FP	酒井	0
28	(2)	PT	(3)	27

〔審・川島 森〕

◆第3週第3日（11月11日）東京体育館

大和銀行26（15−9、11−13）**22日立栃木**

〔戦評〕日立が先行したが、5分過ぎには木口のロングシュートで追いつかれる。大和は日野のポストシュート、速攻、山尾のロングシュートで10分までに7−3と離す。日立も反撃するがシュートが入らず、残り10分で11−6となりさらに市来、尾苗が退場となり、大和のロングシュートが光り、前半を15−9で終了。

後半入り、大和・日野の活躍で19−10としたが、日立も飯塚の頑張りで追いかけ、15分で22−16と食い下がる。スピーディな流れの中、日立は追いかけるが、結局4点差までしか詰まらなかった。

得	〔大和〕		〔日立〕	得
0	岡田	GK	梅津	0
0	上田	GK	坂本	0
1	瀬川	FP	吉鶴	0
2	小池	FP	新井	3
0	伊藤	FP	柳田	2
7	日野	FP	飯塚	8
1	松田	FP	尾苗	4
1	又吉	FP	市来	3
3	西口	FP	岡田	1
4	山尾	FP	石毛	0
1	竹田	FP	堤	1
6	木口	FP	小柏	0
26	(1)	PT	(1)	22

〔審・植村 仲田〕

◆第4週第1日（11月17日）
緑ヶ丘体育館

北国銀行19（7−6／12−7）**13シャトレーゼ**

〔戦評〕前半開始早々、シャトレーゼはFTから小松が得点、続けてポスト、サイドより得点するが、北国銀行は松沢をマークし、シャトレーゼのリズムを崩し、速攻からボールをつなげて得点、7−6と1点をリードして前半を終わる。後半もシャトレーゼは中へ中への攻撃でリズムをつかめず、北国は金のミドルシュートで加点して終了する。

〔シャト〕	得		〔北国〕	得
工藤	0	GK	木戸	0
村山	0	GK	岩井	0
小松	3	FP	上田	2
山岸	3	FP	矢野	0
松沢	1	FP	西川	0
野沢	1	FP	松下	5
小林	0	FP	谷本	1
小野寺	3	FP	森	4
合田	2	FP	北川	1
千葉	0	FP	金	5
鶴田	0	FP	松田	1
成田	0	FP	釣川	0
	13			19
PT	(1)			(1)

審・三枝、水越

◆第4週第2日（11月17日）
福井県立体育館

オムロン29（14−6／14−13）**19日立栃木**

〔戦評〕前半立ち上がり日立のミスが目立ち、これに対しオムロンは的確にシュートを決めてリードを奪う。中盤以降もオムロンの高さとスピードが勝り、大量リードのまま前半を終了。

後半に入って日立も踏張りを見せ、一進一退の攻防を見せたが、前半のリードを守ったオムロンが28−19で、日立を押さえて逃げ切った。

〔日立〕	得		〔オム〕	得
梅津	0	GK	川島	0
坂本	0	GK	城下	0
吉鶴	2	FP	西村	6
新井	4	FP	中山	4
神長	0	FP	武津	1
柳田	2	FP	古田	0
飯塚	4	FP	比嘉	5
尾苗	0	FP	橋本	0
市来	3	FP	斉藤	2
岡田	0	FP	石村	3
堤	2	FP	グデリエ	7
貴田	2	FP	シャーミヤ	0
	19			28
PT	(1)			(2)

審・中山、小坪

◆第4週第2日（11月17日）
岡崎市体育館

大崎電気35（19−9／16−12）**21大和銀行**

〔戦評〕お互いに慎重な立ち上がりであったが、大崎は尹のロングシュートや金のミドルシュートで得点を重ねていった。それに対し大和は、又吉の速攻や木口のミドルシュートなどで応戦するが、高さと粘りのあるディフェンスを攻めあぐんだ。その後も金の巧みなボールまわしで大和のディフェンスをほんろうし、それぞれがバランスよく得点し、前半で19−9と10点の差をつけた。後半、大崎はミスが多くなり、ドタバタした点の取り合いとなったが、パワーとスピードのある大崎の攻撃を食い止めることはできなかった。

〔大和〕	得		〔大崎〕	得
岡田	0	GK	南雲	0
上田	0	GK	宗片	0
瀬川	0	FP	藤井	6
小池	4	FP	前川	4
伊藤	3	FP	梅原	1
日野	1	FP	江口	4
高尾	0	FP	鷲宮	0
又吉	3	FP	野田	0
西口	3	FP	金	9
山尾	2	FP	尹	10
竹田	1	FP	伝法谷	1
木口	4	FP	酒井	0
	21			35
PT	(1)			(4)

審・仲田、植村

◆第5週第1日（11月23日）
金沢市総合体育館

北国銀行28（16−7／12−14）**21日立栃木**

〔戦評〕地元の大声援で固くなった北国、開始早々2本のPTをはずし、ノーマーク速攻のパスミスなどをくり返し、先取点はようやく5分頃、松田のカットインであげる。日光も攻めあぐみながらもよく食いついて4−3と追いすがる。12分頃の5点目でリズムを取り戻した北国、スピードあふれる攻撃を展開し、得点を重ねた。日立も北国のスピードについていけず、次第に点差があいて前半を終了。後半に入って北国のスピードに慣れた日立だが、北国の勢いを止めるまでにはいかなかった。

〔日立〕	得		〔北国〕	得
梅津	0	GK	木戸	0
坂本	0	GK	岩井	0
吉鶴	0	FP	上田	1
新井	5	FP	矢野	1
神長	0	FP	西川	0
柳田	3	FP	松下	4
飯塚	6	FP	谷本	4
尾苗	0	FP	森	3
市来	3	FP	北川	9
岡田	0	FP	金	4
石毛	3	FP	松田	1
堤	1	FP	釣川	1
	21			28
PT	(4)			(7)

審・後藤、島田

◆第6週第2日（12月1日）
古川市総合体育館

大崎電気21（9－5、12－12）**17シャトレーゼ**

〔戦評〕大崎は立ち上がりから尹、金の強力なロングシュートにより着実に加点して前半残り5分までに7－2とリードしたが、シャトレーゼも松沢の活躍で得点を重ね、前半を9－5と大崎の4点リードで折り返した。

後半、大崎はコンビネーションプレーを使う攻撃で着々と得点しワンサイドゲームになるかと思われたが、シャトレーゼもサイド攻撃、速攻により反撃し、白熱したゲームとなった。しかし、どうしても追いつくことはできず、前半の点差を守った大崎が逃げ切った。

〔シャト〕	選手	得
GK	工藤	0
	村山	0
FP	小松	3
	山岸	0
	松沢	10
	野沢	1
	小林	0
	小野寺	1
	千葉	0
	小俣	0
	鶴田	0
	李	2
PT	(0)	17

〔大崎〕	選手	得
GK	南雲	0
	宗片	0
FP	藤井	3
	前川	1
	梅原	1
	江口	0
	鷲宮	2
	野田	6
	金	7
	尹	1
	伝法谷	0
	酒井	0
PT	(1)	21

審・大河原・池田

◆第6週第2日（12月1日）
香川町総合体育館

オムロン26（12－4、16－8）**12大和銀行**

〔戦評〕序盤から両チーム決定力を欠き、20分過ぎまで4－2オムロンリードというロースコアーの展開となった。両チームともミドル、フリースローなどでシュートを狙うが得点できずに試合が進み、前半残り10分からオムロンが速攻を中心とした攻めで5連続得点して試合の主導権を握った。

後半立ち上がりすぐに大和が得点したものの、オムロンは速攻、デグリューのステップなどで得点を重ねていった。下がって守るオムロン・ディフェンスに対して、大和は積極的にロングシュートを試みるが、GK川島とディフェンス陣の好守に阻まれ、得点できず攻めあぐんだ。結局、堅いディフェンスとボールまわしの速さで勝るオムロンが26－12で粘る大和を振り切った。

〔大和〕	選手	得
GK	増見	0
	上田	0
FP	小池	1
	伊藤	0
	日野	0
	高尾	0
	木瀬	0
	又吉	2
	西口	0
	山尾	4
	竹田	1
	木口	4
PT	(1)	12

〔オム〕	選手	得
GK	川島	0
	城下	0
FP	中山	4
	古田	3
	比嘉	5
	橋本	3
	斉藤	0
	古田	1
	石村	4
	グデリエ	5
	シャーミャ	0
	田中	0
PT	(4)	26

審・中川・岡本

男子2部

◆第1週第1日（10月26日）
知立市福祉体育館

本田技研熊本28（10－7、18－10）**17豊田自動織機**

〔戦評〕センター山田の加入で織機はバランスのとれた好チームに変身、粘りも出てきた。

前半立ち上がり、10分までに2人の退場者を出し、12分までに0－4とされた織機だが、7－10と粘り前半を終える。後半10分には12－13と追い上げる。しかし、12分、さらに2人同時の退場により3点を失ない、緊張の糸が切れて本田の快調な走りに大量失点を許し、突き放された。

〔織機〕	選手	得
GK	柴田	0
	中村	0
FP	山田	3
	奥畑	0
	大澤	4
	諫山	0
	倉田	1
	小川	8
	杉浦	0
	山田	0
	伊藤	1
	吉原	0
PT	(3)	17

〔熊本〕	選手	得
GK	坂本	0
	宮本	0
FP	矢野	1
	三代	7
	松村	4
	田中	1
	山口	0
	田中	0
	堀内	4
	寺島	4
	大中	7
	児玉	0
PT	(2)	28

審・吉田・浅野

トヨタ車体25（13－13、12－8）**21竹芝精巧**

〔戦評〕立ち上がり、竹芝は新人・川上や今村の活躍命ら先手をとり、7分に5－2、20分に11－7とリードしていった。しかし車体も粘り、君島、岡部で追いすがり13－13の同点で前半を終了。

後半は一進一退の白熱の所開。竹芝が7分に16－15、9分には18－16とリードしたが、その後車体ディフェンスを攻めあぐみペースダウン、15分には18－19と逆転を許した。以降は車体ペースで運び19分には21－19、26分には23－20と優位をキープして逃げ切った。平沼、今林、馬場など大型でパワーのある竹芝を早いツメとGK安田のガッツで車体が守り抜いた。

〔竹芝〕	選手	得
GK	桜川	0
FP	中間	2
	平沼	4
	馬場	6
	三本	1
	今村	4
	坂元	0
	百合野	0
	川上	4
	土肥	0
	長野	0
PT	(0)	21

〔車体〕	選手	得
GK	宮田	0
	渡辺	6
FP	野田	2
	君島	0
	崎野	5
	河合	6
	岡部	2
	酒井	0
	平野	0
	寺沢	0
	寺島	0
	長野	4
PT	(0)	25

審・浅野・工藤

トヨタ自動車34（17－10、17－12）**22日鉄建材工業**

〔戦評〕昨年1部でもまれ、自動入替での無念の2部落ちのトヨタと昨年度2部最下位の日鉄建材との対戦は、気力にはじめから差があった。

堅く守ってから速攻で楽々と得点を重ねるトヨタ、セットで無理な体勢からシュートを打たされる日鉄と差は歴然。トヨタの小兵軍団、香井、山内に思いどおりに走りまくられて前半17－10と大差をつけられた。後半になって日鉄が反撃はするが単発、上山、鹿嶌、山口、阪中と高さでは一級のチームもスピードが欠け敗れた。

〔日鉄〕	選手	得
GK	古里	0
	田中	0
FP	谷内	3
	至田	0
	崎迫	1
	鹿嶌	1
	森	0
	山口	4
	上山	8
	杉本	4
	阪中	1
PT	(3)	22

〔自動車〕	選手	得
GK	山本	0
	富森	0
FP	香井	7
	川田	7
	田村	2
	三輪	6
	石本	1
	村上	1
	杉元	2
	大塚	0
	野々	1
	山ノ内	6
PT	(4)	34

審・細沢・杉本

日本電装28（11－10、17－10）**20大阪ガス**

〔戦評〕立ち上がり、大阪ガスは森島の連続得点で先行したものの退場者続出でペースをつかめず、前半を11－10と日本電装に逆転された。

後半立ち上がりに大阪ガスが再逆転するが、日本電装も粘り、一進一退の展開となるが、残り13分から日本電装が8点を連取して一気に突き放した。

〔大阪〕	選手	得
GK	福田	0
	曽根勝	0
FP	奥野	0
	加地	8
	合田	0
	長田	2
	森島	6
	浜田	2
	大川	0
	可知	0
	向井	0
	加地	2
PT	(0)	20

〔電装〕	選手	得
GK	高橋	0
	井上	0
FP	橋本	4
	西木戸	0
	久本	1
	岸田	2
	森迫	0
	井上	1
	笠	9
	近藤	2
	梅井	3
	難波	6
PT	(2)	28

審・細沢・杉本

◆第1週第2日（10月27日）知立市福祉体育館

竹芝精巧 31〔17－12 / 14－16〕**28 大阪ガス**

〔戦評〕試合開始より大阪ガス・加地、竹芝・中間、馬場を中心にシーソーゲームをくり返したが、竹芝GK桜川の活躍もあり前半5点差がついた。

後半に入っても18分過ぎには9点差と大きく開き竹芝の快勝と思われたが、大阪ガスは先発メンバーを3人入替し、向井の活躍により3点差まで詰めたが竹芝の地力が勝った試合であった。

得	〔竹芝〕		〔大阪〕	得
0	桜川	GK	福田	0
			曽根	0
12	中間	FP	奥野	2
4	平沼		加地	10
5	馬場		渋谷	0
5	三本		長田	2
0	今村		森島	3
2	坂元		浜田	1
0	百合野		大川	1
2	川上		向井	3
0	土肥		加地	4
1	長野		三羽	2
31	(0)	PT	(4)	28

〔審・浅野・川合〕

トヨタ車体 22〔8－8 / 14－12〕**20 日本電装**

〔戦評〕前半は日本電装のペースで推移、キャプテン笠の好リードで常に先手、先手と攻めたて優位に立った。一方の車体も細かいミスから逆速攻を受け苦しい展開、前半残り10秒で同点にするのが精一杯の状態であった。しかし、後半に入って速攻の帰りがよくなりリズムが出てきて5分　は12－9と初めてリードして車体ペースの展開。残り9分、18－16から一時は18－19に逆転されたものの残り4分から決定的な3連取で開幕2連勝。

得	〔車体〕		〔電装〕	得
0	宮田	GK	高橋	0
0	渡辺		井上	0
5	野田	FP	橋本	2
4	君島		西木戸	0
0	崎野		有村	0
5	河合		久本	1
3	岡部		岸田	2
2	酒井		井上	2
0	平野		笠	2
0	寺沢		近藤	1
0	寺島		梅井	4
3	長野		難波	6
22	(1)	PT		20

〔審・細沢・杉本〕

本田技研熊本 40〔16－11 / 24－8〕**19 日鉄建材工業**

〔戦評〕日鉄建材のディフェンスの布陣は1部に対しても見劣りしない高さと重量をもつ大型ディフェンスである。セット攻撃に対しては高さを生かしてそれなりの守りはできる。しかし、速攻の帰りがほとんどできず本田に自由自在に走りまくられ、前半なかばから差は開く一方となってしまった。

後半開始から20分間は全く得点できず、しかもその間の失点は16と大差がついてしまった。

得	〔熊本〕		〔日鉄〕	得
0	坂本	GK	古里	0
0	宮本		田中	0
2	矢野	FP	谷内	2
6	三代		至田	0
6	松村		崎迫	0
2	田中		鹿嶌	3
1	山口		森	0
2	田中		山口	3
2	堀内		上山	7
8	寺島		杉本	3
9	大中		阪中	1
2	児玉			
40	(0)	PT	(2)	19

〔審・川合・工藤〕

トヨタ自動車 31〔15－11 / 16－10〕**21 豊田自動織機**

〔戦評〕前半、トヨタ自動車に堅さが見られ一時5－3とリードを許したが、13分過ぎスピードに乗った動きにより相手の反則退場2人を誘い一気に7－5と引き離した。後半もトヨタのペースで進められた。織機はディフェンスの甘さが目立ち、前途厳しいものがある。

得	〔自動車〕		〔織機〕	得
0	山本	GK	柴田	0
0	富森		中村	0
10	香井	FP	山田	3
6	川田		奥畑	1
2	田村		大澤	1
2	三輪		諫山	0
0	石本		倉田	2
3	村上		小川	7
3	杉元		杉浦	0
3	野々		山田	2
0	光田		伊藤	3
5	山之内		吉原	2
31	(4)	PT	(3)	21

〔審・浅野・工藤〕

◆第2週第2日（11月3日）今津総合体育館

トヨタ車体 31〔18－9 / 13－12〕**21 大阪ガス**

〔戦評〕前半、シュートミスなどの相手のミスをチャンスに変え、トヨタ車体が波に乗り、新人・岡部の速攻、野田のクイックシュートなどで18－9とリードした。

後半立ち上がり、トヨタ車体に退場ミスが続き、大阪ガスの方へ流れが傾い　と思われたが、そのままトヨタ車体が逃げ切った。

得	〔車体〕		〔大阪〕	得
0	宮田	GK	福田	0
0	渡辺		曽根勝	0
7	野田	FP	奥野	0
0	君島		加地	10
0	崎野		渋谷	2
5	河合		長田	1
13	岡部		森島	2
3	酒井		浜田	1
1	平野		大川	3
0	寺沢		向井	0
0	寺島		加地	1
2	長野		三羽	1
31	(1)	PT	(4)	21

〔審・奥田・丸谷〕

日鉄建材工業 28〔14－13 / 14－12〕**25 豊田自動織機**

〔戦評〕前半6分まで攻め切れず4－0とされ波に乗れなかった日鉄だが、中盤からじりじりと追い上げ、残り10分でようやく9－9の同点に追いつきそのまま一気に逆転、14－13と逆に1点をリードして前半を終わる。

後半は、立ち上がりから日鉄のペースで、10分までに21－15とリードを広げ優位に立った。織機も中盤、小川の頑張りなどで追い上げるが及ばなかった。

得	〔日鉄〕		〔織機〕	得
0	古里	GK	柴田	0
0	田中		中村	0
3	谷内	FP	山田	4
0	久保田		奥畑	2
0	至田		大澤	1
0	崎迫		諫山	0
5	鹿嶌		倉田	3
0	森		小川	10
6	山口		杉浦	0
9	上山		山田	0
1	杉本		伊藤	3
4	阪中		吉原	2
28	(2)	PT	(5)	25

〔審・位田・武田〕

トヨタ自動車 33 (13-13, 20-9) 22 日本電装

〔戦評〕前半の出だし両チームともなかなか点が入らなかったが、10分ほど経過すると追いつ追われつのゲーム展開となった。中盤、トヨタは4点連続ゴールで3点差と引き離すが、直後、日本電装も4点連続ゴールで持ち直す。トヨタの山ノ内のサイドシュートが光った。日本電装GK高橋の好守も目立った。

後半が開始するとトヨタが4連続ゴールでペースをつかむ。逆に日本電装は細かいミスで速攻につながれ、ディフェンスの乱れも目立ちすっかりペースを崩してしまう。トヨタは後半出だしの勢いをそのまま持続させゲームをものにした。

〔電装〕	得		〔自動車〕	得
高橋	0	GK	山本	0
井上	0	GK	富森	0
橋本	5	FP	香井	6
西木戸	0	FP	川田	9
久本	2	FP	田村	1
岸田	0	FP	三輪	6
森迫	0	FP	石本	0
井上	2	FP	村上	0
笠	5	FP	杉元	1
近藤	5	FP	野々田	2
梅井	3	FP	光田	0
難波	0	FP	山ノ内	8
(1)	22	PT	(2)	33

審　吉田・家永

本田技研熊本 21 (9-13, 12-8) 21 竹芝精巧

〔戦評〕前半、竹芝GKの好守でなかなか得点できなかった本田。それでもシーソーゲームだったが中盤から竹芝がリードを広げ13—9で折り返す。しかし、竹芝は前半終了間際に続けて2人が退場になり、後半は4人で始まった。後半は本田がようやくリズムをつかみ残り12分で17—17の同点に追いついた。ラスト3分両者譲らず激しくせり合うが、結局21—21の同点のままタイムアップ。

〔竹芝〕	得		〔熊本〕	得
桜川	0	GK	坂本	0
		GK	宮本	0
中間	6	FP	三代	1
平沼	4	FP	松村	2
馬場	0	FP	田中	3
三本	1	FP	山口	2
今村	7	FP	川崎	0
坂元	0	FP	田中	6
百合野	0	FP	堀内	0
川上	3	FP	寺島	3
土肥	0	FP	大中	4
長野	0	FP	児玉	0
(2)	21	PT	(1)	21

審　馬場・浜田

◆第2週第3日（11月4日）大阪ガス今津体育館

大阪ガス 25 (15-13, 10-7) 20 豊田自動織機

〔戦評〕前半、どちらも固い守りのせいか同点のまま試合は進んでいった。途中、織機の1人が退場となり5人になった。その際、1点の失点をし大阪ガスの有利となった。2点差で後半が始まった。波に乗ってきた大阪ガスは織機に得点させることなく攻め続けた。独自のプレーで得点をとっていった。そのせいかペナルティが多く残り1分を切ったところで織機に退場者が出た。結果は25—20で大阪ガスが勝利を握った。

〔織機〕	得		〔大阪〕	得
柴田	0	GK	福田	0
中村	0	GK	曽根勝	0
山田	2	FP	奥野	1
奥畑	0	FP	加地	7
大澤	5	FP	渋谷	0
諫山	0	FP	長田	0
倉田	2	FP	森島	6
小川	7	FP	浜田	3
杉浦	0	FP	大川	1
山田	0	FP	向井	0
伊藤	1	FP	加地	7
吉原	3	FP	三羽	0
(0)	23	PT	(4)	25

審　馬場・浜田

トヨタ車体 29 (14-14, 15-9) 23 日鉄建材工業

〔戦評〕いきなり車体の速攻で始まったこの試合。車体フローター陣は相手の高さに苦しむが、ディフェンスのスキをぬって野田らが得点を重ねる。一方日鉄はディフェンスの弱さが目立つものの上山らが相手ディフェンスの上からロングシュートを打ち前半は同点で終わる。

後半、車体は粘りの守りとGKの堅守でチャンスをつくり、速攻をしかける。得点をリードされた日鉄は上山らのシュートで追い上げを図るが、結局6点で終わった。

〔日鉄〕	得		〔車体〕	得
古里	0	GK	宮田	0
田中	0	GK	渡辺	0
谷内	1	FP	野田	5
久保田	0	FP	君島	3
至田	0	FP	崎野	0
崎迫	0	FP	河合	8
鹿嶌	6	FP	岡部	5
森	0	FP	酒井	4
山口	1	FP	寺沢	0
上山	12	FP	寺島	0
杉本	0	FP	長野	3
阪中	3	FP	川野	1
(1)	23	PT	(2)	29

審　吉田・家永

トヨタ自動車 24 (13-11, 11-13) 24 本田技研熊本

〔戦評〕立ち上がり、両者とも相手のイージーなミスから速い攻撃を展開。そこから相手ディフェンスの穴を突いてきたのがまず本田チーム。GK宮本の好守、堅いディフェンスの速攻、フローター陣のロングシュートなどでリズムをつかむ。トヨタチームは、ディフェンス面での粗さが目立ち、得点を許しながらも新人・三輪のパワフルなロングシュートなどで食いつき逆転、前半を2点リードで折り返した。後半はじめ、トヨタが一気にリードし突き放しにかかるが、本田も粘り強く守り追い上げる。試合は終了間際、本田・山口の鮮やかな速攻からのシュートにより同点、引き分けとなる。

〔熊本〕	得		〔自動車〕	得
坂本	0	GK	山本	0
宮本	0	GK	富森	0
三代	2	FP	香井	2
松村	4	FP	川田	4
田中	2	FP	田村	0
山口	4	FP	三輪	11
川崎	0	FP	石本	1
田中	4	FP	村上	0
堀内	0	FP	杉元	1
寺島	5	FP	野々田	2
大中	3	FP	光田	0
児玉	0	FP	山ノ内	3
(1)	24	PT	(1)	24

審　丸谷・奥田

日本電装 28 (16-8, 12-18) 26 竹芝精巧

〔戦評〕前半は日本電装のスピーディな速攻に対し、竹芝は馬場、今村らロング陣が対抗するが、ディフェンス前でのミスが目立ち、逆速攻で失点を重ねた。

後半、竹芝は平沼のロングで得点を重ねるが、日本電装が前半の波に乗り逃げ切った。

〔竹芝〕	得		〔電装〕	得
桜川	0	GK	高橋	0
		GK	井上	0
中間	4	FP	橋本	3
平沼	9	FP	西木戸	0
馬場	2	FP	久本	4
三本	0	FP	岸田	2
今村	4	FP	森迫	0
坂元	2	FP	井上	0
百合野	0	FP	笠	6
川上	5	FP	近藤	6
土肥	0	FP	梅井	5
長野	0	FP	難波	2
(1)	26	PT	(4)	28

審　馬場・浜田

◆第3週第1日（11月9日）大阪市立中央体育館

本田技研熊本 28 (16-6, 12-11) 17 大阪ガス

〔戦評〕本田がスタードダッシュよく25秒に先制すると4点を連取、15分過ぎには9—2と大きくリードを奪う。大阪ガスも反撃を試みるが得点が伸びず、全員がまんべんなく得点する本田が16—6と大きくリードして前半を終わる。

〔大阪〕	得		〔熊本〕	得
福田	0	GK	坂本	0
曽根勝	0	GK	宮本	0
奥野	0	FP	矢野	0
加地	2	FP	三代	3
渋谷	3	FP	松村	4
合田	0	FP	田中	1
長田	0	FP	山口	2
森島	0	FP	田中	5
浜田	1	FP	堀内	5
可知	3	FP	寺島	3
加地	6	FP	大中	2
三羽	2	FP	児玉	2
(1)	17	PT	(0)	28

審　小山・佐路

後半に入り、大阪ガスも粘りを見せ互角の展開を見せるが、前半の点差が大きく、28—17で本田が快勝した。

日本電装 34 〔17—7／17—11〕 18 **日鉄建材工業**

〔戦評〕立ち上がりしばらくこう着状態が続いたが、3分過ぎ、日本電装・笠が先制すると電装が一気に5点を連取、優位に立って展開する。日鉄建材も反撃を試みるが散発的で、その間電装は着々と加点、17—7と10点差をつけて折り返す。後半に入っても流れは変わらず、立ち上がりいきなり電装が6点を連取して勝負を決める。中盤以降、日鉄建材も反撃を見せるがすでに得点差は大きく開いており、34—18で電装が大勝した。

得	〔電装〕		〔日鉄〕	得
0	高橋	GK	古甲	0
0	井上	GK	田中	0
1	橋本	FP	谷内	2
1	西木戸	FP	久保田	0
2	久本	FP	至田	0
3	岸田	FP	崎迫	1
1	森迫	FP	鹿嶌	5
2	井上	FP	森	0
13	笠	FP	山口	2
4	近藤	FP	上山	2
3	梅井	FP	杉本	3
4	難波	FP	阪中	3
34	(1)	PT	(2)	18

〔審・佐路 小山〕

豊田自動織機 24 〔12—11／12—12〕 23 **竹芝精巧**

〔戦評〕立ち上がり竹芝が3点を連取すると織機も2点を連取、中盤まで一進一退の点の取り合いを見せる。残り10分を切って織機が5点連取して12—9とすると5分を切って竹芝が2点連取、結局12—11の1点差で前半を終わる。

後半に入っても同じような展開で、お互い連続して点を奪い合うというやや雑な攻防を見せたが、結局前半の1点差を守り切った織機が今季初勝利をあげた。

得	〔織機〕		〔竹芝〕	得
0	柴田	GK	桜川	0
5	山田	FP	中間	5
1	大澤	FP	平沼	5
0	諫山	FP	山本	0
9	倉田	FP	馬場	1
1	小川	FP	三本	6
2	杉浦	FP	今村	4
0	渡部	FP	坂元	0
3	山田	FP	百合野	0
2	伊藤	FP	川上	2
1	吉原	FP	長野	0
24	(2)	PT	(4)	23

〔審・岸本 吉田〕

トヨタ自動車 29 〔16—14／13—8〕 22 **トヨタ車体**

〔戦評〕今季好調の両チームの対戦で、前半の立ち上がり双方とも一歩も譲らず、15分まで7—7の同点。自動車は香井、山ノ内のサイドシュートなどで加点、一方車体も長野のポストシュートなどで得点、16—14と自動車の2点リードで前半を終える。

後半に入り、地力に勝る自動車は香井、川田、野々らが相手ミスからの速攻、ポストプレーなど多彩な攻めで着実に加点し、次第にリードを広げる。自動車GK富森の好守もあり、車体の反撃をかわした自動車が29—22で勝利を収めた。

得	〔自動車〕		〔車体〕	得
0	山本	GK	冨田	0
0	富森	GK	渡辺	0
3	香井	FP	野田	1
8	川田	FP	君島	2
0	田村	FP	崎野	0
8	三輪	FP	河合	3
0	石本	FP	岡部	12
0	村上	FP	酒井	2
1	杉元	FP	平野	0
3	野々	FP	寺沢	0
0	光田	FP	寺島	0
6	山ノ内	FP	長野	2
29	(1)	PT	(4)	22

〔審・岸本 吉田〕

◆第3週第2日（11月10日）大阪市中央体育館

トヨタ自動車 26 〔13—11／13—13〕 24 **大阪ガス**

〔戦評〕この対戦、大阪ガスの善戦で場内が大いに湧いた。

体格に大きな差のあるトヨタ自動車は、川田、三輪、杉元のロング陣が低い大阪ガスのディフェンスを突破し、楽々と得点して優位に試合を進めた。後半に入って、GK福田に当たりが出だした大阪ガスは、新人カルテットの大活躍で12分には17—16と逆転に成功、一時2点差としたが、直後に2人の退場者を出し、その間に追いつかれ一進一退の攻防が続いたが、持ちゴマに一日の長があるトヨタ自動車が競り勝った。

得	〔自動車〕		〔大阪〕	得
0	山本	GK	福田	0
0	富森	GK	曽根勝	0
4	香井	FP	奥野	3
10	川田	FP	加地	7
0	田村	FP	渋谷	0
5	三輪	FP	合田	0
0	石本	FP	長田	0
0	村上	FP	森島	4
5	杉元	FP	可知	0
0	野々	FP	向井	5
0	光田	FP	加地	0
2	山ノ内	FP	三羽	2
26	(3)	PT	(2)	24

〔審・岸本 浅井〕

本田技研熊本 33 〔14—10／19—11〕 21 **トヨタ車体**

〔戦評〕小兵ながら全員で動き回るトヨタ車体に対し、本田は1・2・3のディフェンスで車体のパスを寸断し4連続、3連続と得点を重ねる。また、高い攻撃力で車体ディフェンスをほんろうする。

後半に入っても本田の得点力の優位は変わらず、点差を一方的に広げて粘る車体をふり切った。

得	〔熊本〕		〔車体〕	得
0	坂本	GK	宮本	0
0	宮本	GK	渡辺	0
0	矢野	FP	野田	2
7	三代	FP	君島	0
5	松村	FP	崎野	0
1	山口	FP	河合	3
0	川崎	FP	岡部	12
4	田中	FP	酒井	0
4	堀内	FP	平野	0
6	寺島	FP	寺島	0
3	大中	FP	長野	4
3	児玉	FP	川野	0
33	(0)	PT	(2)	21

〔審・岸本 浅井〕

日鉄建材工業 27 〔13—9／14—16〕 25 **竹芝精巧**

〔戦評〕いつになくロング陣が不調な竹芝に対しのびのび全員ハンドの日鉄建材が相手ミスに乗じて速攻、ミドルでリードを奪い後半も好調を持続した。

何とか体勢の建て直しを図る竹芝は三本、坂元の左コンビの頑張りなどで17分には18—18の同点に追いつき、さらに逆転に成功してそのまま差を広げるかに見えたが、

日鉄のベテラン山口が終盤4連続得点と大活躍、再逆転してそのまま押し切った。

〔竹芝〕

	選手	得
GK	桜川	0
FP	中間	4
	平沼	1
	馬場	2
	三本	12
	今村	0
	坂元	4
	百合野	0
	川上	1
	川下	0
	長野	0
PT	(4)	25

〔審・吉田・田中〕

〔日鉄〕

	選手	得
GK	古里	0
	田中	0
FP	谷内	4
	至田	0
	崎迫	1
	鹿嶌	4
	森	0
	山口	11
	杉本	3
	阪中	4
PT	(2)	27

日本電装 22（12−11、10−10）**21 豊田自動織機**

〔戦評〕開始22秒、織機の大澤がいきなり先制、2分過ぎに電装・橋本が返して以後一進一退の展開となる。お互い手の内を知り尽くしており、それぞれ持ち味を出してゲームを進め、前半の残り3分ほどから3点を連取した電装が12−11と1点をリードして折り返す。後半、2分過ぎに織機・大澤が決めて再び同点となると全く一進一退をくり返し、残り1分20秒、電装・久本が決めて1点差で何とか織機を突き放し逃げ切った。

〔織機〕

	選手	得
GK	柴田	0
	中村	0
FP	山田	1
	奥畑	0
	大澤	5
	倉田	6
	小川	3
	杉浦	1
	渡部	1
	山田	1
	伊藤	3
	吉原	0
PT	(1)	21

〔審・小山・佐路〕

〔電装〕

	選手	得
GK	高橋	0
	井上	0
FP	橋本	3
	西木戸	0
	久本	4
	岸田	1
	森迫	0
	井上	5
	笠	4
	近藤	2
	梅井	1
	難波	2
PT	(3)	22

◆第4週第2日（11月17日）福井県立体育館

トヨタ自動車 35（18−11、17−14）**25 竹芝精巧**

〔戦評〕前半開始早々から竹芝はボールが手につかずトヨタの一方的攻勢。中盤、やっと竹芝にエンジンがかかるもトヨタの攻撃力、ディフェンス力は上で、トヨタのリードのまま前半終了。

後半、トヨタの速攻が冴える。竹芝も踏張るが、実力に勝るトヨタが終始優位に展開、10点差をつけて快勝した。

〔竹芝〕

	選手	得
GK	桜川	0
FP	中間	8
	平沼	5
	馬場	2
	三本	6
	今村	3
	坂元	0
	百合野	0
	川上	1
	土肥	0
	長野	0
PT	(1)	25

〔審・高田・田村〕

〔自動車〕

	選手	得
GK	山本	0
	富森	0
FP	香井	7
	川田	9
	田村	1
	三輪	8
	杉元	5
	大塚	0
	野々	2
	光田	0
	山ノ内	3
	田中	0
PT	(4)	35

◆第6週第1日（11月30日）徳山市体育館

日本電装 28（12−11、16−13）**24 本田技研熊本**

〔戦評〕本田は田中の先取点から寺島のPTなどの連続得点と好スタートを切った。一方日本電装はシュートミスなどが続き、10分までは久本のPT、難波の速攻の2点で6−2と本田がリード。しかし、10分過ぎて電装GK井上の好守もあり、20分までに8−7と1点差まで追い上げた。その後、電装は橋本のポスト、桜井のロング、速攻と前半を12−11と逆に1点リードして折り返した。

後半早々本田は、寺島、松村と得点するが、電装も笠らの活躍で10分までに18−13と差を5点とした。20分までは両チームGKの好守が続き22−18と電装が4点リード。本田は残り5分から田中、三代、寺島で一時は2点差まで追い上げたが、結局電装が28−24の4点差で勝利を収めた。

〔熊本〕

	選手	得
GK	坂本	0
	宮本	0
FP	矢野	0
	三代	5
	松村	7
	山口	0
	川崎	1
	田中	5
	堀内	0
	寺島	6
	大中	0
	児玉	0
PT	(2)	24

〔審・中竹・増田〕

〔電装〕

	選手	得
GK	高橋	0
	井上	0
FP	橋本	4
	西木戸	0
	久本	2
	岸田	3
	森迫	0
	井上	1
	笠	8
	近藤	3
	梅井	6
	難波	1
PT	(2)	28

◆第6週第2日（12月1日）日新製鋼呉体育館

大阪ガス 33（18−8、15−9）**17 日鉄建材工業**

〔戦評〕出だしは互角の勝負であったが、前半15分過ぎから大阪ガスは日鉄のミスに乗じて次々と速攻と重ね点差を広げていった。日鉄の攻撃は足が止まり、パスミスも多く雑になった。前半は18−8と大阪ガスの大量リードとなり、試合の大勢は前半で決まってしまった。

後半も大阪ガスが主導権を握り速攻を中心とした攻めで一方的にゲームを進めた。日鉄は守りも粗く、攻めでは上山のロングが散発的に決まるのみであった。結局、33−17の大差で大阪ガスが勝利をものにした。

〔日鉄〕

	選手	得
GK	古里	0
	田中	0
FP	谷内	1
	久保田	2
	至田	0
	崎迫	0
	鹿嶌	1
	森	2
	上山	7
	杉本	4
	阪中	0
PT	(2)	17

〔審・福岡・石代〕

〔大阪〕

	選手	得
GK	福田	0
	曽根勝	0
FP	奥野	1
	加地	7
	中村	4
	長田	0
	森島	4
	浜田	0
	可知	2
	向井	4
	加地	6
	三羽	5
PT	(3)	33

◆第6週第2日（12月1日）香川町総合体育館

トヨタ車体 25（13−11、12−10）**21 豊田自動織機**

〔戦評〕立ち上がりでの連取で勢いに乗った織機のペースで進むが、両チームともミスが目立ち、前半はスピードに勝るトヨタ車体の2点リードで終了した。

後半に入り、車体は得点差を広げようとするが、織機のGK芝田の好守などにより1点差にまで迫られる。結局、少し雑なプレーが目立ったが、総合力に勝る車体がそのまま逃げ切った。

〔織機〕

	選手	得
GK	柴田	0
	中村	0
FP	山田	3
	奥畑	0
	大澤	3
	諌山	0
	倉田	6
	小川	2
	杉浦	2
	山田	0
	伊藤	2
	吉原	3
PT	(1)	21

〔審・上濱・片山〕

〔車体〕

	選手	得
GK	宮田	0
	渡辺	0
FP	野田	1
	君島	4
	崎野	0
	河合	2
	岡部	12
	酒井	3
	寺沢	0
	寺島	0
	長野	3
	川野	0
PT	(3)	25

女子2部

◆第1週第2日（10月27日）三郷市総合体育館

ソニー国分 14〔6－6／8－6〕**12 ブラザー工業**

〔戦評〕前半立ち上がり、両チームともにミスが続くが、4分過ぎブラザーが三好のカットインで先制する。しかし、その後も攻め切れず、15分で3－3とロースコアーで試合は進む。結局、前半は6－6で終了。

後半に入り11分、ブラザー・野田の退場で流れが変わるかと思えたが変わらず、ブラザーがリードしてはソニーが追いつくというパターンである。25分過ぎ、林のポストシュートでソニーがリードを奪う。だが残り2分を切ったところでソニーは藤元が退場になるが、波に乗ったソニーが守り切り、14－12と接戦をものにした。

得	〔ソニー〕		〔ブエ〕	得
0	古賀	GK	喜多	0
			西住	0
3	藤元	FP	荒木	5
3	永尾		末永	3
2	平山	〔審・稲村・寿川〕	小栗	0
3	安山		野田	0
2	林		藤江	0
1	大住		甲斐	1
0	飯		進藤	1
0	桑谷		高木	0
0	荒木		畑中	0
0	重山		三好	2
14	(1)	PT	(1)	12

◆第2週第1日（11月2日）四日市市体育館

ジャスコ 37〔17－11／20－11〕**22 ソニー国分**

〔戦評〕先取点は相手ミスよりジャスコ東山の得点で始まる。前半10分過ぎまでソニー・大住、ジャスコ・土師などの活躍でシーソーゲーム。僅かにソニー有利に進めるが、11分頃同点にジャスコが追いついたあとは、18分過ぎのソニーが退場者を出してより完全にジャスコのペースとなり、多様な攻撃にて点差を開き6点差にて前半終了。後半に入り、ジャスコGK小林の好守と飯田の活躍が光り、ワンサイドゲームとなる。中盤、韓国からの金、林も攻撃に厚味も加え、着々と加点、他方ソニーは永尾中心の単発シュートが決まる程度、大差にてジャスコリードのうちに終了した。

得	〔ジャス〕		〔ソニー〕	得
0	小林	GK	古賀	0
0	長谷川			
1	今井	EP	藤元	4
10	東出		永尾	7
0	稲田	〔審・大和田・河合〕	平山	2
4	山田		安山	2
3	川井		林	0
5	飯田		大住	5
0	西本		飯	0
8	土師		桑谷	2
3	金		荒木	0
3	林		重山	0
37	(4)	PT	(0)	22

◆第2週第2日（11月3日）東根市体育館

JUKI 19〔10－9／9－6〕**15 ムネカタ**

〔戦評〕開始1分、JUKI・田中が先制、キャプテン飯田の好リードもあり着々と加点。ムネカタは6分過ぎにようやく初得点をあげるが、桜井のロングシュートなどで14分過ぎには4－3と逆転。以後一進一退の展開を見せ、10－9とJUKIが1点をリードして前半を終了。

後半に入っても、JUKIが先行、ムネカタが追いかけるという展開が続いたが、11分過ぎからの10分間にJUKIが4点を連取、勝負を決めた。

得	〔JUKI〕		〔ムネ〕	得
0	久保	GK	佐々木	0
0	山田		山影	0
2	永尾	FP	高橋	1
3	許田		皆川	2
0	和久田	〔審・佐々木・佐藤〕	上遠野	4
3	高塚		菅野	0
3	田中		桜井	6
3	飯田		遠藤	1
1	山口		庄子	0
0	吉田		村上	0
0	武井		遠藤	0
4	関		藤根	1
19	(3)	PT	(0)	15

◆第3週第2日（11月10日）東海市体育館

ブラザー工業 24〔14－9／10－7〕**16 JUKI**

〔戦評〕前半、スピーディなゲーム展開からややJUKIペースで試合が進む。8分過ぎあたりにJUKIのパスミスからブラザーの速攻が決まり流れがブラザーに移る。その後ブラザー荒木のミドルがよく決まり、前半を14－9とブラザーのリードで終わる。

後半も中盤まで一進一退のゲーム展開であったが、ブラザーの3度の退場にもかかわらずJUKIがそれを生かせず波に乗り切れなかった。ブラザー荒木の10得点の活躍もあり、ブラザーがJUKIをふり切った。

得	〔ブエ〕		〔JUKI〕	得
0	喜多	GK	久保	0
0	西住		山田	0
10	荒木	FP	永尾	4
1	末永		許田	2
0	小栗	〔審・工藤・川合〕	和久田	0
4	野田		高塚	1
0	藤江		田中	4
4	甲斐		山口	2
4	進藤		吉田	0
0	高木		武井	0
0	畑中		関	3
1	三好			
24	(0)	PT	(1)	16

◆第4週第1日（11月16日）三好公園総合体育館

ジャスコ 25〔13－6／12－1〕**7 JUKI**

〔戦評〕前半5分は両チームとも攻め切れずロースコアーであったが、5分過ぎからJUKIの攻めのミスをついたジャスコが速攻を主体に得点を重ね、抜け出した。特にジャスコ土師がサイドシュート、カットイン、ロングシュートと多様なシュートを放ちJUKIのディフェンスをかく乱した。前半を通してJUKIの攻めの甘さが目立ち、決定打のなさが大きく点差に結びついたようだ。

後半も前半と同じくJUKIが攻めあぐね、チャンスはあるにもかかわらず得点に結びつけることができず、逆にジャスコはスピードに乗った速攻、速いボールまわしからのカットイン、ポストプレーなど多彩な攻めで点差をますます広げ試合を決めた。

得	〔ジャス〕		〔JUKI〕	得
0	小林	GK	久保	0
0	長谷川		山田	0
0	今井	FP	永尾	3
1	東出		和久田	1
1	勝島	〔審・永田・坪井〕	高塚	1
2	稲田		田中	0
5	川井		飯田	0
6	飯田		山口	1
0	成澤		吉田	0
1	徳永		武井	0
9	土師		関	1
0	東			
25	(1)	PT	(0)	7

◆第4週第2日（11月17日）岡崎市体育館

ブラザー工業 22〔12－6／10－7〕**13 ムネカタ**

〔戦評〕開始5分過ぎ、ブラザーは荒木が負傷により退場するが、そのハンディもなく多彩なプレーで確実に得点を重ねていった。一方ムネカタは、長身桜井を中心に再三ロングシュートをねらうが、ブラザーの厚いディフェンスに守られ、なかなか思うように決まらずいそのあせりが味方のディフェ

シスにも影響し、前半のみでペナルティー5本（うち警告3回）という荒さが出てしまった。

後半、ムネカタはプレスディフェンスで相手のミスをねらうが、ブラザーはケガの治療を終え復帰した荒木に一層元気づけられ、一気に10点差まで広げ勝負を決めた。

	〔ムネ〕	得	〔ブ工〕	得
GK	佐々木	0	喜多	0
GK	山影	0	西住	0
FP	高橋	1	荒木	6
FP	皆川	4	末永	2
FP	上遠野	1	小栗	2
FP	菅野	0	野田	2
FP	桜井	4	藤江	0
FP	遠藤	0	甲斐	3
FP	庄子	1	進藤	5
FP	村上	0	高木	0
FP	吾妻	0	畑中	0
FP	藤根	2	三好	2
PT	(1)	13	(5)	22

〔審・川合、杉本〕

◆第5週第1日（11月23日）福島市体育館

ジャスコ 34（17－9、17－5）**14 ムネカタ**

〔戦評〕前半立ち上がり早々、ムネカタ・皆川が先制。しかし、ジャスコもすぐに追いつき逆転、以後ジャスコ優位の展開でじりじりとリードを広げ、17－9と8点をリードして前半を終える。後半に入るとムネカタはジャスコのディフェンスを攻めあぐね、13分過ぎまで実に11連続得点をジャスコに許し、大差がついて勝敗が決した。

	〔ムネ〕	得	〔ジャス〕	得
GK	佐々木	0	小林	0
GK	山影	0	藤原	0
FP	高橋	1	今井	7
FP	皆川	3	東出	2
FP	上遠野	2	勝島	3
FP	菅野	0	山田	3
FP	桜井	4	川井	2
FP	遠藤	0	飯田	3
FP	庄子	2	成澤	5
FP	吾妻	0	土師	7
FP	田代	1	松村	2
FP	藤根	1	吉本	0
PT	(2)	14	(4)	34

〔審・大沢、佐藤〕

◆第5週第2日（11月24日）都城市体育文化センター体育館

ソニー国分 17（5－5、12－8）**13 JUKI**

〔戦評〕立ち上がり5分間は両チームともシュートミスが目立ち、ソニー国分は14分間「得点0」が続いた。20分にはJUKIが4－1とリードしたが、前半終了間際ソニーが安山の速攻で同点として折り返した。後半は、ソニー・藤元、JUKI・田中の両エースの活躍で一進一退のゲームとなったが、残り5分間でソニーは相手パスミスから逆速攻やポストでPTを誘い、4点連取で突き放した。

	〔JUKI〕	得	〔ソニー〕	得
GK	久保	0	古賀	0
GK	山田	0		
FP	永尾	0	藤元	5
FP	和久田	0	永尾	2
FP	高塚	0	平山	0
FP	田中	7	安山	6
FP	飯田	2	林	4
FP	山口	2	大住	0
FP	吉田	0	飯	0
FP	武井	0	桑谷	0
FP	関	2	中島	0
FP			荒木	0
PT	(0)	13	(5)	17

〔審・米倉、渡辺〕

◆第6週第1日（11月30日）徳山市体育館

ジャスコ 29（14－9、15－7）**16 ブラザー工業**

〔戦評〕ジャスコは立ち上がり地元出身の飯田が2得点をあげ、好スタートを切ったが、ブラザーは野田、甲斐、荒木で3点連取、10分までに3－2とブラザーがリード。20分まではジャスコは林のPT、土師のサイド、ブラザーはGK西住の好守から甲斐の速攻、荒木のPTなど激しい攻防があったが、ジャスコは今井のサイドや速攻、さらに守りも15分過ぎから動きが良くなり、9－6とジャスコが逆転。その後ジャスコは今井、金の活躍で前半を14－9で折り返した。

後半は、ジャスコ・稲田、ブラザー・荒木のシュートで10分までで17－12と5点差は変わらず、その後も着実に得点を重ねたジャスコが、金、稲田を中心とする堅い守りもあり、29－16で勝利を飾った。

	〔ブ工〕	得	〔ジャス〕	得
GK	喜多	0	小林	0
GK	西住	0	長谷川	0
FP	荒木	6	今井	6
FP	末永	0	東出	4
FP	小栗	0	勝島	0
FP	野田	2	稲田	6
FP	藤江	1	川井	1
FP	甲斐	3	飯田	2
FP	進藤	4	成澤	0
FP	高木	0	土師	5
FP	畑中	0	金	3
FP	三好	0	林	2
PT	(3)	16	(3)	29

〔審・吉本、野村〕

◆第6週第2日（12月1日）古川市総合体育館

ソニー国分 30（13－5、17－10）**15 ムネカタ**

〔戦評〕立ち上がり両チームとも、ボールが手につかず、5分間こう着状態が続いたが、ムネカタのミスにつけこみ、ソニー国分がサイド、ポストプレーにより着実に加点し、前半を13－5とリードした。

後半、ムネカタは皆川、桜井を軸に攻めるが、ソニーのコンビネーションプレーが勝ち、勝利を手にした。

	〔ムネ〕	得	〔ソニー〕	得
GK	佐々木	0	古賀	0
GK	山影	0		
FP	高橋	0	藤元	9
FP	皆川	5	永尾	3
FP	上遠野	0	平山	1
FP	菅野	3	安山	5
FP	桜井	5	林	4
FP	遠藤	0	大住	6
FP	庄子	1	飯	0
FP	村上	0	桑谷	2
FP	遠藤	1	荒木	0
FP	藤根	0	石橋	0
PT	(3)	13	(2)	30

〔審・照井、守屋〕

お詫び

日本リーグ第5週の男子1部、湧永製薬対三陽商会の試合結果の発表に際し、リーグ運営委員会からの資料が勝敗を取り違えて発表しましたため、新聞紙上等で誤って報道されました。機関誌誌上をお借りして正しい結果をお伝えするとともに、ご迷惑をおかけいたしましたことを関係各位に深くお詫び申し上げます。

日本リーグ運営委員会

男子

▼予選トーナメント1回戦

中部大 33（18－5、15－12）17 新潟大
中央大 21（11－8、10－10）18 名城大
東北学院大 29（15－10、14－16）26 愛知大
日本体育大 45（24－3、21－10）13 愛媛大
愛知学院大 26（11－11、15－13）24 函館大
国際武道大 23（10－10、13－12）22 同志社大

▼2回戦

日本大 26（13－6、13－4）10 京都産業大
法政大 28（16－9、12－9）18 東和大
早稲田大 26（12－10、14－14）24 中部大
福岡大 27（11－10、16－10）20 中央大
順天堂大 39（21－7、18－12）19 東北学院大
日本体育大 30（12－11、18－16）27 大阪経済大
筑波大 34（20－14、14－13）27 愛知学院大

中京大 27（6－12、16－10、4－2、1－2）26 国際武道大
国士舘大 28（13－7、15－19）26 日本大
大阪体育大 31（16－5、15－13）18 法政大

▼準決勝リーグA組

福岡大 24（9－10、15－8）18 早稲田大
日本体育大 32（17－7、15－14）21 順天堂大
順天堂大 32（16－16、16－9）25 早稲田大
福岡大 23（11－12、12－9）21 日本体育大
順天堂大 25（12－9、13－12）21 福岡大
日本体育大 32（13－10、19－11）21 早稲田大

〔順位〕①日本体育大②福岡大③順天堂大④早稲田大

▼決勝リーグB組

筑波大 30（16－11、14－7）18 中京大
大阪体育大 37（20－15、17－9）24 国士舘大
大阪体育大 28（15－9、13－7）16 中京大
筑波大 31（17－8、14－10）18 国士舘大
国士舘大 30（13－15、17－12）27 中京大
大阪体育大 31（14－7、17－12）19 筑波大

〔順位〕①大阪体育大②筑波大③国士舘大④中京大

▼3位決定戦

福岡大 26（13－8、13－9）17 筑波大

〔戦評〕3分過ぎ清水のPTで福岡大が先行すれば、筑波大・藤田のカットインで応え、その後互いのディフェンス、GKの好守に、10分過ぎまで4－1のロースコアながらも福岡大がリード。20分過ぎ、福岡大エース中山のロングが当たりだすや志田の速攻、中村のロングなどが加わり、筑波大も鎌田のサイドシュートなどで追うも13－8と福岡大のリードで前半を終了。

後半に入り、福岡大・村田が左サイドに走り上がってのカットイン、速攻と得点を重ね、時折放つ中山のロングにじわじわと福岡大が引き離しにかかる。筑波大は16分過ぎに平野退場の不利を逆に速攻2本で得点し、追いつきかけるが、藤井の当たりが今一つで散発的な攻めとなり、福岡大は中山に集まるディフェンスの逆側を上手について着実に得点を重ね、1分前に筑波大GKのシュートという場内を沸かすプレーがあったが26－17で福岡大が勝つ。

得	〔福岡〕			〔筑波〕	得
0	光井	GK		森	0
0	篠崎			栗山	0
3	牧	FP		藤井	3
4	村田			平野	2
0	清水			鎌田	2
2	中村			疋田	0
0	米倉			藤田	5
4	清水			鈴木	1
0	安田			誉田	2
10	中山			横越	0
1	志田			児島	1
2	浦塘			益崎	0
26					17

〔審・山本、家永〕

▼決勝

日本体育大 34（19－14、15－7）21 大阪体育大

〔戦評〕日体大のスローオフで試合が始まり、開始2分、大体大・森本が先制点をあげたが、その後日体大サウスポー1年小沢が2連続得点をあげ、両校白熱した展開となり、10分後、日体大・積、佐藤らの活躍で4点リード、その後大体大の速攻が決まり始め、前半残り10分、10－10の同点となる。しかし、大体大GKの好守などがあったが、セット攻撃が決まりだした日体大が19－14と5点をリードして前半を終了。

後半に入り、日体大が速攻、スカイプレーなどで3連続得点をあげ、幸先の良いスタートとなり、大体大も森本のポストプレーなどで食いつき得点していったが、攻

得	〔日体〕			〔大体〕	得
0	長嶺	GK		緒方	0
0	西浦			四方	0
6	下地	FP		大崎	0
4	本庄			田中	7
7	佐藤			後藤	3
6	積			井上	0
1	柏崎			前田	2
1	滝川			松原	3
0	豊増			森本	6
0	中垣内			泉	0
5	富本			村上	0
4	小沢			福田	0
34					21

〔審・佐藤、田中〕

撃力に勝る日体大がキャプテン下地を中心に着実に得点をものにし波に乗り、本大会で調子を上げた日体大が34－21で優勝をものにした。

女子

▼予選トーナメント1回戦

チーム	得点	前半	後半	得点	チーム
東女体大	40	18－11	22－7	18	福岡教育大
中京女大	30	13－7	17－6	13	東北福祉大
筑波大	29	15－6	14－7	13	天理大
大阪体育大	37	20－8	17－6	14	仁愛女短大
日本体育大	30	15－3	15－7	10	中京大
武庫川女大	31	15－5	16－4	9	東海大
日女体大	38	14－5	24－1	6	広島大
福岡大	48	23－1	25－5	6	北教大旭川分校

▼準決勝リーグA組

チーム	得点	前半	後半	得点	チーム
東女体大	28	15－10	13－12	22	中京女大
筑波大	17	8－7	9－9	16	大阪体育大
東女体大	22	8－6	14－7	13	筑波大
大阪体育大	15	4－5	11－7	12	中京女大
筑波大	27	15－7	12－7	14	中京女大
東女体大	27	11－7	16－9	16	大阪体育大

〔順位〕①東京女子体育大②筑波大③大阪体育大④中京女子大

▼準決勝リーグB組

チーム	得点	前半	後半	得点	チーム
武庫川女大	19	11－6	8－9	15	日本体育大
日女体大	24	14－11	10－6	17	福岡大
福岡大	19	10－12	9－6	18	武庫川女大
日本体育大	20	7－4	13－9	13	日女体大
武庫川女大	20	10－7	10－8	15	日女体大
東女体大	27	11－7	16－9	16	大阪体育大

〔順位〕①日本体育大②武庫川女子大③日本女子体育大④福岡大

▼3位決定戦

チーム	得点	前半	後半	得点	チーム
筑波大	22	15－8	7－9	17	武庫川女大

〔戦評〕この大会過去3位決定戦においては1勝1敗と分け合う両チームである。筑波大・西田のサイドシュートで先取し主導権を握るゲーム展開となる。いつものディフェンスの切れが見られない武庫川女大。筑波大の野村、柳内などの活躍でじりじり差を広げようとするが、意地を見せる武庫川女大もやっと中盤過ぎに動きがかみ合うようになり、久保、柳崎の速攻も決まりだし、後半に反撃の望みを託す。

後半に入り、筑波大はセットから加古川のポストプレーなどで得点を加えるのに対して武庫川女大は速攻、カットイン、そしてペナルティーを決め、一進一退の攻防がくり返される。武庫川女大は前半の動きとは見違えるようなファイトを見せてくれたが、立ち上がりから中盤までの展開が悔やまれる。

〔武庫川〕	得		〔筑波〕	得
牧	0	GK	斉藤	0
岡山	0	GK	小前田	0
西村	2	FP	加古川	4
西	3	FP	竹内	0
大林	2	FP	中沢	1
岸本	1	FP	柳内	7
久保	3	FP	長久	0
高浪	2	FP	西田	4
北田	2	FP	野村	5
田村	0	FP	飯田	0
橋崎	2	FP	東田	0
重国	0	FP	大前	1
	17			22

〔審・古冨、長井〕

▼決勝

チーム	得点	前半	後半	得点	チーム
東女体大	23	10－6	13－12	18	日本体育大

〔戦評〕両チーム開始早々やや固さが見られたが、日体大が3分、児玉のロングで先行する。女体東大は日体大GK小松崎の好守もあり、なかなか点が取れなかったが9分に飯田のカットインで得点する。その後も東女体大はサイドを中心に着実に点を取り、前半を10－6で終了する。

後半に入り、日体大も粘りを見せ、福西を中心に点を取り、一進一退の攻防を見せ点差を詰めようとしたが、前半の差が大きく響き東女体大の勝利に終った。

〔日体〕	得		〔東女〕	得
小松崎	0	GK	今野	0
久保田	0	GK	庄司	0
竹吉	2	FP	日比野	3
大畑	1	FP	井口	0
児玉	4	FP	小島	2
福成寺	5	FP	新島	0
若林	0	FP	田島	3
福西	2	FP	本橋	6
山田	1	FP	並松	0
西村	0	FP	本間	2
柳田	0	FP	飯田	7
石原	3	FP	山田	0
	18			23

〔審・小笠原、江成〕

各地学生秋季リーグ戦

北海道学生

▼男子1部

北海道園大 26－19 北教大函館
函館大 39－9 北教大旭川
北大 20－14 小樽商大
函館大 43－8 北教大函館
北海学園大 20－13 小樽商大
北大 36－17 北教大旭川
函館大 44－13 北海学園大
北大 23－18 北教大函館
小樽商大 23－10 北教大旭川
北大 16－11 北海学園大
函館大 29－6 小樽商大
北教大函館 24－12 北教大旭川
北海学園大 30－17 北教大旭川
小樽商大 23－16 北教大函館
函館大 31－13 北大

〔順位〕①函館大②北海道大③北海学園大④小樽商科大⑤北海道教育大函館分校⑥北海道教育大旭川分校

▼男子2部

室蘭工大 22－21 北星大
北見工大 25－19 札幌大
道都大 21－17 北教大釧路
北星大 24－23 北見工大
室蘭工大 23－22 北教大釧路
札幌大 21－21 道都大
北教大釧路 25－24 北星大
室蘭工大 22－15 札幌大
道都大 20－18 北見工大
札幌大 24－20 北星大
北見工大 25－24 北教大釧路
道都大 23－14 室蘭工大
道都大 26－16 北星大
北見工大 27－25 室蘭工大
札幌大 24－23 北教大釧路

〔順位〕①道都大②北見工業大③室蘭工業大④札幌大⑤北海道教育大釧路分校⑥北星学園大

▼男子3部

北大医学部 33－13 北海学園北見
札幌学院大 25－19 釧路公立大
北海道工大 28－12 北大医学部
釧路公立大 29－13 北大医学部
札幌学院大 21－10 北海道工大
釧路公立大 47－6 北海学園北見
北海道工大 35－10 北海学園北見
札幌学院大 23－14 北大医学部
釧路公立大 26－20 北海道工大
札幌学院大 34－11 北海学園北見

〔順位〕①札幌学院大②釧路公立大③北海道工業大④北海道大医学部⑤北海学園北見大

▼女子

北教大旭川 20－13 北海道女短大
北教大旭川 17－8 北星大
北海道女短大 22－8 北星大

〔順位〕①北海道教育大旭川分校②北海道女子短大③北見学園大

東北学生

▼男子1部

東北学院大 33－12 山形大
仙台大 30－21 東北大
東北福祉大 37－18 山形大
岩手大 26－22 東北大
岩手大 38－16 山形大
東北福祉大 35－20 東北大
岩手大 22－21 仙台大
東北学院大 20－19 東北福祉大
東北大 24－20 山形大
東北学院大 27－14 東北大
仙台大 35－13 山形大
東北福祉大 23－21 岩手大
東北学院大 23－21 仙台大
東北学院大 21－13 岩手大
東北福祉大 28－20 仙台大

〔順位〕①東北学院大②東北福祉大③岩手大④仙台大⑤東北大⑥山形大

▼男子2部

秋田大 37－13 東北工大
福島大 43－11 日大工学部
北里大 30－17 東北工大
宮城教大 36－13 日大工学部
弘前大 38－19 北里大
秋田大 25－21 福島大
宮城教大 29－28 弘前大
福島大 46－16 北里大
秋田大 12－0 日大工学部
弘前大 37－14 東北工大
福島大 24－19 宮城教大
北里大 32－24 日大工学部
秋田大 24－20 宮城教大
日大工学部 22－11 東北工大
弘前大 23－23 秋田大
宮城教大 30－22 北里大
福島大 23－19 弘前大
宮城教大 23－17 東北工大
秋田大 40－20 北里大

〔順位〕①秋田大②福島大③宮城教育大④弘前大⑤北里大⑥日大工学部⑦東北工業大

▼女子

東北福祉大 51－3 宮城教大
岩手大 50－3 宮城教大
東北福祉大 38－8 岩手大

〔順位〕①東北福祉大②岩手大③宮城教育大

関東学生

▼男子1部

早大 27－22 順大
日体大 24－17 法大
筑波大 25－20 国士大
中大 22－22 日大
日体大 28－19 順大
筑波大 29－19 日大
国士大 24－19 中大

早大	30-26	法大
筑波大	21-16	順大
中大	29-19	法大
早大	29-18	国士大
日体大	27-22	日大
早大	27-23	日大
国士大	29-22	日体大
筑波大	21-17	法大
中大	27-22	順大
国士大	25-25	法大
順大	20-16	日大
早大	30-27	中大
筑波大	24-21	日体大
日大	21-16	法大
順大	34-24	国士大
早大	25-20	筑波大
中大	28-25	日体大
法大	24-21	順大
国士大	14-14	日大
筑波大	22-21	中大
日体大	25-20	早大

〔順位〕①早稲田大②筑波大③日体大④中央大⑤国士館大⑥順天堂大⑦日本大⑧法政大

▼男子2部

国武大	19-15	青学大
明治大	32-20	明星大
東海大	21-21	慶応大
学芸大	21-15	拓大
慶応大	26-11	拓大
明治大	23-21	青学大
国武大	36-20	明星大
学芸大	18-15	東海大
拓大	20-19	明星大
東海大	27-23	青学大
国武大	33-27	慶応大
明治大	17-12	学芸大
青学大	22-20	拓大
東海大	31-21	明星大
明治大	26-25	慶応大
国武大	31-15	学芸大
学芸大	24-21	青学大
慶応大	31-31	明星大
東海大	27-14	明治大
国武大	26-20	拓大
慶応大	38-25	青学大
学芸大	25-24	明星大
明治大	28-19	拓大
国武大	22-20	東海大
明星大	27-26	青学大
学芸大	26-22	慶応大
東海大	19-11	拓大
明治大	23-22	国武大

〔順位〕①国際武道大②明治大③東京学芸大④東海大⑤慶応大⑥明星大⑦青山学院大⑧拓殖大

▼男子3部

東京大	17-16	東工大
横商大	21-18	専修大
武工大	30-19	茨城大
東経大	24-15	千葉大
東京大	28-17	専修大
武工大	26-20	千葉大
横商大	17-17	東工大
東経大	19-16	茨城大
武工大	14-14	東工大
専修大	23-20	東経大
東京大	26-15	茨城大
千葉大	18-14	横商大
専修大	20-19	武工大
東工大	22-20	東経大
東京大	29-22	千葉大
横商大	26-17	茨城大
武工大	20-19	横商大
東工大	24-20	千葉大
東経大	20-17	東京大
茨城大	22-21	専修大
横商大	22-15	東経大
武工大	24-19	東京大
専修大	21-18	千葉大
東工大	26-15	茨城大
東工大	27-20	専修大
横商大	26-17	東京大
千葉大	27-22	茨城大
武工大	27-21	東経大

〔順位〕①武蔵工業大②東京工業大③横浜商科大④東京大⑤東京経済大⑥専修大⑦千葉大⑧茨城大

▼男子4部

創価大	26-21	東洋大
一橋大	22-16	帝京大
横国大	38-32	東理大
東農大	30-19	上智大
帝京大	18-17	上智大
一橋大	22-17	創価大
東農大	31-24	東理大
横国大	28-23	東洋大
横国大	44-26	東農大
東洋大	33-31	東理大
帝京大	21-18	創価大
一橋大	21-21	上智大
横国大	33-22	上智大
東洋大	27-19	帝京大
創価大	32-15	東農大
東理大	25-22	一橋大
一橋大	24-22	東洋大
上智大	24-21	東理大
横国大	29-20	創価大
帝京大	30-23	東農大
一橋大	33-24	東農大
創価大	22-19	東理大
上智大	17-10	東洋大
横国大	25-25	帝京大
創価大	24-21	上智大
東理大	29-25	帝京大
一橋大	23-20	横国大
東洋大	25-22	東農大

〔順位〕①横浜国立大②一橋大③創価大④帝京大⑤東洋大⑥上智大⑦東京理科大⑧東京農業大

▼男子5部

大東大	31-20	防衛大
横市大	25-23	産能大
明学大	21-13	成蹊大
立教大	30-17	芝工大
成蹊大	34-18	産能大
大東大	24-16	明学大
立教大	21-18	防衛大
横市大	28-20	芝工大
防衛大	19-17	芝工大
横市大	28-22	成蹊大
大東大	25-12	産能大
立教大	25-20	明学大
産能大	27-21	防衛大
横市大	21-16	明学大
成蹊大	19-17	立教大
大東大	32-22	芝工大
立教大	18-16	産能大
明学大	21-14	芝工大
防衛大	27-25	成蹊大
大東大	32-16	横市大
成蹊大	24-21	芝工大
横市大	29-22	防衛大
産能大	34-15	明学大

大東大 24－15 立教大
大東大 30－23 成蹊大
立教大 18－17 横市大
防衛大 28－12 明学大
産能大 22－19 芝工大
〔順位〕①大東文化大②立教大③横浜市立大④成蹊大⑤産能大⑥防衛大⑦明治学院大⑧芝浦工業大

▼男子6部

神奈川大 34－12 文教大
独協大 36－16 工芸大
亜大 36－13 千工大
埼玉大 19－18 都留大
亜大 31－20 独協大
神奈川大 39－23 埼玉大
工芸大 28－13 文教大
都留大 17－12 千工大
埼玉大 30－23 文教大
亜大 33－26 神奈川大
独協大 26－20 都留大
千工大 17－15 工芸大
埼玉大 30－23 文教大
独協大 28－18 文教大
神奈川大 19－14 千工大
亜大 28－14 都留大
都留大 12－0 工芸大
神奈川大 23－11 独協大
亜大 33－11 文教大
埼玉大 26－22 千工大
独協大 32－19 埼玉大
亜大 31－23 工芸大
千工大 17－13 文教大
神奈川大 26－14 都留大
神奈川大 29－14 工芸大
亜大 35－19 埼玉大
独協大 21－19 千工大
文教大 23－19 都留大
〔順位〕①亜細亜大②神奈川大③独協大④埼玉大⑤都留文科大⑥千葉工業大⑦東京工芸大⑧文教大

▼男子7部

○Aグループ

武蔵大 20－18 玉川大
杏林大 26－15 日工大
東電大 29－12 関学大
日工大 37－15 関学大
玉川大 12－11 杏林大
武蔵大 24－11 東電大
武蔵大 33－12 関学大
杏林大 35－6 工科大
日工大 33－29 玉川大
玉川大 22－11 東電大
武蔵大 15－12 杏林大
日工大 26－12 工科大
玉川大 25－19 関学大
武蔵大 38－17 工科大
東電大 20－18 工科大
日工大 20－17 武蔵大
杏林大 33－13 関学大
玉川大 23－19 工科大
日工大 36－16 東電大
工科大 22－22 関電大
杏林大 30－10 東電大
〔順位〕①日本工業大②武蔵大③杏林大④玉川大⑤東電学園大⑥東京工科大⑦関東学院大学

○Bグループ

群馬大 22－12 農工大
情報大 34－13 都立大
群馬大 20－14 技術大
農工大 25－20 外語大
都立大 27－17 技術大
外語大 14－14 群馬大
情報大 22－17 農工大
外語大 30－25 技術大
情報大 33－22 群馬大
都立大 23－18 農工大
情報大 33－19 外語大
都立大 23－21 外語大
農工大 23－21 技術大
都立大 19－17 群馬大
情報大 29－21 技術大
情報大 34－26 工業大
都立大 28－24 武蔵大
工業大 32－27 都立大
〔順位〕①東京情報大②都立大③群馬大④東京農工大⑤東京外語大⑥帝京技術科学大

○順位決定戦

情報大 34－26 日工大
都立大 28－24 武蔵大

○2位決定戦

日工大 32－27 都立大
〔総合順位〕①東京情報大学②日本工業大③東京都立大④武蔵大

▼女子1部

東女体大 40－9 千明短大
日体大 31－15 東海大
筑波大 25－12 日女体大
東女体大 33－13 千明短大
日体大 38－9 東海大
筑波大 18－14 日女体大
東女体大 33－12 東海大
日体大 26－15 日女体大
筑波大 36－11 千明短大
東海大 25－7 千明短大
東女体大 28－15 日女体大
日体大 29－20 筑波大
東海大 23－7 千明短大
東女体大 34－15 日女体大
日体大 29－20 筑波大
日女体大 29－14 東海大
日体大 42－12 千明短大
東女体大 25－25 筑波大
日女体大 20－19 東海大
日体大 46－14 千明短大
東女体大 29－29 筑波大
日女体大 26－17 千明短大
筑波大 30－13 東海大
日体大 23－22 東女体大
日女体大 21－8 千明短大
筑波大 37－16 東海大
東女体大 35－28 日体大
〔順位〕①日本体育大②東京女子体育大③筑波大④日本女子体育大⑤東海大⑥千葉明徳短大

▼女子2部

○Aグループ

東学大 24－5 大東大
千葉大 39－5 昭和薬大
東学大 36－4 昭和薬大
大東大 42－6 文教大
大東大 28－8 昭和薬大
千葉大 51－13 文教大
千葉大 22－21 大東大
東学大 56－3 文教大
昭和薬大 14－6 文教大
東学大 29－15 千葉大
〔順位〕①東京学芸大②千葉大③大東文化大④昭和薬科大⑤文教大

○Bグループ

茨城大 38－11 横浜大
玉川大 40－15 横浜大
玉川大 35－6 国士大

横浜大	19－13	国士大
茨城大	36－8	都留大
都留大	37－10	国士大
茨城大	31－19	玉川大
都留大	26－10	横浜大
茨城大	32－6	国士大
玉川大	37－14	都留大

〔順位〕茨城大②玉川大③都留文化大④横浜大⑤国士舘大

○1位決定戦

東学大	24－15	茨城大

○3位決定戦

玉川大	32－22	千葉大

東海学生

▼男子1部

中部大	26－13	愛教大
名城大	36－23	愛知大
中京大	33－24	愛学大
中部大	32－17	愛学大
中京大	31－20	名城大
愛知大	24－18	愛教大
愛学大	27－21	名城大
中部大	35－15	愛知大
中京大	30－19	愛教大
名城大	32－22	愛教大
中部大	30－20	中京大
愛知大	27－27	愛学大
愛学大	34－16	愛教大
中京大	29－19	愛知大
名城大	24－16	中部大

〔順位〕①中部大②中京大③名城大④愛知学院大⑤愛知大⑥愛知教育大

▼女子

中京女大	37－5	南山大
中京大	46－7	愛教大
中京女大	41－10	愛教大
中京大	42－4	南山大
中京大	22－19	中京女大
愛教大	15－10	南山大
中京女大	43－3	南山大
中京大	33－3	愛教大
愛教大	16－10	南山大
中京女大	61－3	愛教大
中京大	39－3	南山大
中京大	24－19	中京女大

〔順位〕①中京大②中京女子大③愛知教育大④南山大

北信越学生

▼男子1部

新潟大	24－19	金沢工大
新潟大	25－16	富山大
新潟大	35－16	福井大
新潟大	39－15	信州大
金沢工大	30－10	富山大
金沢工大	33－11	福井大
金沢工大	38－14	信州大
富山大	28－18	福井大
富山大	28－17	信州大
信州大	23－14	福井大

〔順位〕①新潟大②金沢工業大③富山大④信州大⑤福井大

▼男子2部

金沢大	27－16	長野大

〔順位〕①金沢大②長野大

▼女子

仁愛短大	22－13	金沢大
仁愛短大	21－13	新潟大
仁愛短大	24－14	富山大
仁愛短大	19－8	信州大
新潟大	14－13	金沢大
金沢大	20－14	富山大
金沢大	14－10	信州大
富山大	22－21	新潟大
新潟大	19－18	信州大
富山大	22－15	信州大

〔順位〕①仁愛女子短大②金沢大③新潟大④富山大⑤信州大

関西学生

▼男子1部

大経大	32－17	同大
大体大	41－11	桃山大
京産大	27－17	近大
同大	24－24	近大
大経大	39－17	京産大
桃山大	30－20	立命大
大体大	33－15	近大
大経大	31－18	桃山大
大体大	27－13	京産大
立命大	19－18	同大
大経大	32－15	立命大
桃山大	28－21	近大
大体大	36－9	同大
京産大	28－15	立命大
同大	30－19	桃山大
大経大	33－17	近大
京産大	23－17	桃山大
大体大	33－17	立命大
近大	31－18	立命大
京産大	22－21	同大
大経大	19－18	大体大

〔順位〕①大阪経済大②大阪体育大③京都産業大④桃山学院大⑤同志社大⑥近畿大⑦立命館大

▼女子1部

大教大	22－15	京教大
大体大	29－16	仏教大
武庫川大	33－11	大教大
関西外大	18－9	京教大
大体大	15－15	関西外大
武庫川大	28－12	天理大
大教大	31－12	仏教大
武庫川大	41－8	仏教大
大教大	19－13	関西外大
天理大	25－14	仏教大
天理大	34－11	京教大
大体大	32－19	大教大
大体大	40－9	京教大
武庫川大	44－12	仏教大
天理大	16－10	関西外大
大体大	30－15	天理大
武庫川大	27－14	関西外大
京教大	17－16	仏教大
関西外大	17－16	仏教大
天理大	24－13	大体大
武庫川大	22－12	大体大

〔順位〕①武庫川女子大②大阪体育大③天理大④大阪教育大⑤関西外語大⑥京都教育大⑦仏教大

各地の大会結果

関東

第9回千葉県高校ジュニア選手権

（8月23～25日／生浜高校ほか）

〈男子〉

▼予選リーグAブロック
芝浦工柏 17－9 小金
船橋旭 12－5 小金
芝浦工柏 14－4 船橋旭
▼同Bブロック
泉 12－10 京葉
京葉 16－12 船橋西
泉 21－8 船橋西
▼同Cブロック
佐原 22－6 拓大紅陵
拓大紅陵 12－0 渋谷幕張
佐原 12－0 渋谷幕張
▼同Dブロック
船橋東 22－15 生浜
船橋東 18－9 木更津
木更津 15－14 生浜
▼同Eブロック
柏南 13－7 国府台
土気 14－5 国府台
柏南 14－9 土気
▼同Fブロック
市立松戸 28－8 市川西
流山中央 16－7 市川西
市立松戸 27－13 流山中央
▼同Gブロック
学館浦安 18－10 東葛飾
東葛飾 21－5 市原
学館浦安 23－6 市原
▼同Hブロック
若松 29－10 鎌ヶ谷
専大松戸 22－5 鎌ヶ谷
専大松戸 12－9 若松
▼同Iブロック
八千代 27－5 我孫子
我孫子 8－7 幕張北
八千代 24－2 幕張北
▼同Jブロック
柏陵 18－14 千葉南
千葉南 23－8 松戸六実
柏陵 19－10 松戸六実
▼同Kブロック
松戸秋山 14－13 千葉明徳
千葉明徳 15－4 沼南
松戸秋山 25－3 沼南
▼決勝トーナメント1回戦
柏南 13－11 泉
八千代 11－7 学館浦安
東京学館 11－10 市立松戸
東邦 16－4 専大松戸
柏陵 23－7 松戸秋山
芝浦工柏 11－6 船橋東
二松沼南 19－9 佐原
▼同2回戦
市川 25－10 柏南
東京学館 16－11 八千代
柏陵 12－0 東邦
二松沼南 21－4 芝浦工柏
▼準決勝
市川 17－11 東京学館
二松沼南 13－12 柏陵
▼3位決定戦
東京学館 14－11 柏陵
▼決勝
市川 14（9－5、5－7）12 二松沼南

〈女子〉

▼予選リーグLブロック
生浜 20－7 聖徳
佐原女 12－6 聖徳
生浜 14－7 佐原女
▼同Mブロック
柏南 22－0 土気
若葉看護 22－4 土気
若葉看護 15－10 柏南
▼同Nブロック
若松 9－4 東葛飾
若松 17－6 幕張北
▼同Oブロック
柏陵 9－6 市立松戸
佐原 14－8 御宿家政
市立松戸 8－7 佐原
柏陵 25－4 御宿家政
市立松戸 22－2 御宿家政
柏陵 20－7 佐原
▼同Pブロック
明徳 10－5 松戸秋山
流山中央 24－1 東金女
流山中央 11－10 松戸秋山
明徳 27－0 東金女
松戸秋山 13－3 東金女
明徳 12－9 流山中央
▼決勝トーナメント1回戦
明徳 13－5 柏陵
▼同2回戦
若松 15－13 生浜
流山中央 13－4 市立松戸
若葉看護 12－0 東邦
和洋 12－4 明徳
▼準決勝
和洋 15－10 若松
若葉看護 11－4 流山中央
▼3位決定戦
若松 23－5 流山中央
▼決勝
和洋 13（7－4、6－3）7 若葉看護

国体関東予選

（9月6～8日／埼玉・三郷市総合体育館）

〈成年男子1部〉

▼1回感
山梨 34－14 群馬
埼玉 37－12 栃木
東京 36－15 千葉
茨城 35－24 神奈川
▼2回戦
埼玉 42－20 山梨
東京 42－24 茨城
▼決勝
埼玉 29－18 東京
▼代表決定戦1回戦
栃木 36－21 群馬
神奈川 34－20 千葉
▼代表決定戦2回戦
茨城 26－25 栃木
山梨 24－21 神奈川
※代表＝埼玉、東京、茨城、山梨

〈成年男子2部〉

▼1回戦
埼玉 33－25 千葉
栃木 28－27 山梨
神奈川 25－20 群馬
東京 29－25 茨城
▼2回戦
埼玉 26－25 栃木
神奈川 25－18 東京
▼代表決定戦1回戦
千葉 24－19 山梨
茨城 25－22 群馬
▼代表決定戦2回戦
東京 31－22 千葉
茨城 30－22 栃木
▼代表決安戦
東京 33－12 茨城
※代表＝埼玉、神奈川、東京

〈成年女子〉

▼1回戦
群馬 25－17 千葉
神奈川 36－10 茨城
埼玉 30－26 栃木
山梨 24－15 東京
▼2回戦
神奈川 24－18 群馬
山梨 19－15 埼玉
▼決勝
山梨 34－14 神奈川
※代表＝山梨

〈少年男子〉

▼1回戦
千葉 15－13 栃木
神奈川 16－14 山梨

埼玉 32－29 群馬
東京 24－16 茨城

▼2回戦
千葉 21－17 神奈川
埼玉 21－17 東京

▼代表決定戦1回戦
東京 26－17 山梨
群馬 26－19 茨城

▼代表決定戦2回戦
栃木 18－13 東京
神奈川 25－18 群馬

▼代表決定戦
神奈川 20－19 栃木

※代表＝埼玉、千葉、神奈川

〈少年女子〉

▼1回戦
埼玉 14－13 茨城
千葉 26－9 山梨
群馬 18－8 東京
栃木 22－12 神奈川

▼2回戦
千葉 19－12 埼玉
群馬 17－14 栃木

▼代表決定戦1回戦
茨城 22－13 山梨
神奈川 15－8 東京

▼代表決定戦2回戦
茨城 13－10 栃木
神奈川 12－11 埼玉

▼決勝
茨城 15－12 神奈川

※代表＝群馬、千葉、茨城

第15回関東実業団選手権

（9月21、22日／三井石油化学体育館ほか）

〈男子1部〉

▼1回戦
大崎電気 40－10 セントラル自動車

▼準決勝
大崎電気 25－18 中村荷役
三陽商会 22－16 三景

▼3位決定戦
中村荷役 29－25 三景

▼決勝
大崎電気 30－20 三陽商会

〈男子2部〉

▼1回戦
コスモ石油 20－17 自衛隊久里浜
日本原研 33－7 三井石化
出光千葉 29－19 富士電機
JUKI 33－14 常陽銀行

▼敗者戦
富士電機 23－13 三井石化
常陽銀行 24－16 三井石化

▼準決勝
コスモ石油 27－26 日本原研
JUKI 22－16 出光千葉

▼決勝
JUKI 26－23 コスモ石油

〈女子〉

▼1回戦
ムネカタ 17－15 自体校

▼準決勝
大崎電気 18－12 JUKI
シャトレーゼ 30－10 ムネカタ

▼3位決定戦
JUKI 41－10 ムネカタ

▼決勝
シャトレーゼ 19－16 大崎電気

第44回千葉県民体育大会

（10月5、6日／佐原市民体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦
千葉市 26－8 船橋市
勝浦市 28－21 袖ヶ浦市
市原市 31－24 松戸市
柏市 39－13 木更津市
東葛飾郡 26－20 佐原市
習志野市 26－19 印旛郡

▼2回戦
市川市 30－25 千葉市
市原市 28－20 勝浦市
柏市 32－22 東葛飾郡
習志野市 30－27 八千代市

▼準決勝
市川市 29－22 市原市
柏市 22－20 習志野市

▼決勝
市川市 28（11－7、17－13）20 柏市

〈女子〉

▼1回戦
佐原市 14－5 印旛郡
習志野市 19－12 船橋市

▼準決勝
千葉市 20－6 佐原市
習志野市 15－12 市川市

▼決勝
千葉市 13（7－6、6－6）12 習志野市

東海

第42回三重県総合選手権

（9月1、15、22日／四日市四郷高ほか）

〈男子〉

▼1回戦
三菱油化 16－12 津高OB
三重教員 25－7 むつみヶ丘クC
桑名西クA 23－9 四日市中央エク
四日市工高A 19－17 むつみヶ丘クA
亀山高 14－9 四日市四郷高
鵜ノ森クB 19－15 海星高
川越高 12－11 鳥羽商船
桑名高B 26－5 四日市南高OBA
鵜ノ森クC 17－11 桑名工高OB
45四工ク 16－7 名張西高
津東高 25－3 尾鷲高
津工高 11－8 津高B
桑名工高 16－15 八稜星B
桑名高A 26－17 四日市南高OBB
鵜ノ森クE 26－10 四日市南高OB
桑名北高B 14－8 高田高
津高A 30－1 上野高
鵜ノ森クD 19－10 四日市西高
四日市南高 20－7 津西高
四日市高B 14－6 四日市工高B
桑名北高A 24－9 鳥羽商船OB

桑名西クB 19-12 桑名北高OB
むつみヶ丘クB 18-19 亀山商
鈴鹿高専 17-16 西朝明ク
三重大 20-14 四日市高A
八稜星A 20-7 名張西高OB
鵜ノ森ク 18-7 四日市中工高
桑名西高 16-5 上野工高

▼2回戦
本田爽風会 12-0 三菱油化
三重教員 22-18 桑名西クA
亀山高 16-14 四日市工高
鵜ノ森クB 17-11 川越高
鵜ノ森クC 19-13 桑名高B
津東高 14-12 45四工ク
桑名工高 23-6 津工高
四日市工高C 12-0 桑名高A
鵜ノ森クE 14-13 西笹川ク
津高A 16-6 桑名北高B
四日市南高 20-16 鵜ノ森クD
四日市南高B 12-0 桑名北高A
むつみヶ丘クB 12-0 桑名西クB
三重大A 15-14 鈴鹿高専
鵜ノ森クA 17-11 八稜星A
本田ク 28-12 桑名西高

▼3回戦
本田爽風会 23-11 三重教員
亀山高 13-11 鵜ノ森クB
鵜ノ森クC 22-13 津東高
四日市工高C 11-10 桑名工高
鵜ノ森クE 27-9 津高A
四日市高B 16-12 四日市南高
むつみヶ丘クB 17-11 三重大
本田ク 27-10 鵜ノ森クA

▼準々決勝
本田爽風会 23-10 亀山高
四日市工高C 28-17 鵜ノ森クC
鵜ノ森クE 17-12 四日市高B
本田ク 31-10 むつみヶ丘クC

▼準決勝
本田爽風会 22-8 四日市工高C
本田ク 19-18 鵜ノ森ク

▼決勝
本田爽風会 24 (12-7, 12-14) 21 本田ク

〈女子〉
四日市高 18-5 四日市西高
暁高OB・B 19-9 Kクラブ
上野高 25-2 尾鷲高
四日市四郷高 8-7 桑名西高OG
暁高OG・A 18-12 キューティーマヨネーズ
むつみヶ丘ク 14-3 桑名西高
名張西高 12-7 桜クラブ
三重大 29-1 松阪女高
津東高 29-5 四日市南高O
上野高OG 15-13 津高
西笹川ク 19-10 トマト

▼2回戦
ジャスコ 15-4 四日市高
桑名高 18-14 暁高OG・B
上野高 3-1 四日市四郷高
暁高OG・A 17-6 川越高
三重選抜 21-0 むつみヶ丘ク
三重大 12-11 名張西高
津東高 21-10 上野高OG
西笹川ク 12-11 四日市南高

▼3回戦
ジャスコ 37-1 桑名高
暁高OG・A 26-3 上野高
三重選抜 18-6 三重大
西笹川ク 16-15 津東高

▼準決勝
三重選抜 34-3 西笹川ク
ジャスコ 33-10 暁高OG・A

▼決勝
ジャスコ 26 (15-4, 11-9) 13 三重選抜

近畿

大阪府高校秋季総体

◆中ブロック予選

〈男子〉

▼1回戦
生野 14-9 羽曳野
池島 28-10 港南
柏原 20-12 住吉
阿倍野 9-8 柏原東
東住吉 12-9 藤井寺
花園 26-11 山本
阪南 10-0 清風
高津 27-4 大教大平野
八尾 25-8 藤井寺工

▼2回戦
此花学院 14-8 生野
勝山 13-9 池島
柏原 22-8 阿部野
天王寺 9-6 東住吉
桃山学院 22-9 花園
阪南 15-6 八尾東
東住吉工 9-7 高津
上宮 20-5 八尾

▼3回戦
此花学院 24-11 勝山
天王寺 8-3 柏原
桃山学院 27-10 阪南
上宮 24-3 東住吉工

▼準決勝
此花学院 15-4 天王寺
桃山学院 18-11 上宮

▼3位決定戦
上宮 22-3 天王寺

▼決勝
桃山学院 17-4 此花学院

〈女子〉

▼1回戦
関西女短 17-6 東大阪
住吉 19-5 藤井寺
池島 14-8 生野

▼2回戦
四天王寺 30-5 関西女短
港南 13-11 東住吉高
山本 6-4 高津
阪南 24-3 住吉
大谷 27-4 八尾東
八尾 26-5 鶴見商
信愛女 11-3 城南
天王寺 9-7 池島

▼3回戦
四天王寺 42-1 港南
阪南 22-5 山本
大谷 23-0 八尾
信愛女 18-1 天王寺

▼準決勝
四天王寺 21-5 阪南
大谷 23-6 信愛女

▼3位決定戦
阪南 10-2 信愛女

▼決勝
四天王寺 18-8 大谷

◆東ブロック予選

〈男子〉

▼1回戦
芥川 9-7 高槻北
島上大冠 19-13 関西大倉
磯島 24-2 門真
長尾 16-9 牧野
加納 19-13 茨木東
府立工専 18-10 島本
摂津 16-10 淀川工
摂陵 20-11 守口北
同志社香里 15-8 枚方
交野 12-7 寝屋川
西寝屋川 9-6 茨木
四条畷 14-7 大東
城東工 18-18 門真南 (2PTC1)
南寝屋川 12-11 三島

▼2回戦
春日丘 22-12 芥川
島上大冠 20-18 磯島
長尾 15-11 加納
摂津 18-2 府立工専
同志社香里 18-11 摂陵
西寝屋川 14-9 交野
城東工 15-10 四条畷
島上 15-7 南寝屋川

▼3回戦
春日丘 23-11 島上大冠
摂津 17-10 長尾
西寝屋川 14-13 同志社香里
島上 19-13 城東工

▼準決勝
春日丘 15-14 摂津
島上 18-16 西寝屋川

▼3位決定戦
摂津 24－12 西寝屋川
▼決勝
春日丘 14－13 島上
〈女子〉
▼1回戦
大東 9－8 大阪市立
西寝屋川 17－4 香里丘
▼2回戦
春日丘 20－0 大東
茨木 7－4 牧野
南寝屋川 12－1 茨木東
寝屋川 17－6 島上
枚方 11－10 摂津
高槻北 11－5 長尾
門真 14－5 守口北
門真南 8－6 西寝屋川
▼3回戦
春日丘 26－1 茨木
寝屋川 19－2 南寝屋川
枚方 17－3 高槻北
門真南 11－3 門真
▼準決勝
寝屋川 9－5 春日丘
門真南 10－8 枚方
▼3位決定戦
春日丘 13－6 枚方
▼決勝
門真南 9－8 寝屋川

◆南ブロック予選
〈男子〉
▼1回戦
貝塚南 16－6 長野
岸和田産 12－8 堺西
登美丘 14－13 久米田
商大堺 16－11 鳳
和泉工 24－8 金岡
岸和田 9－8 堺上
東百舌鳥 20－9 泉陽
▼2回戦
初芝 18－4 貝塚南
和泉 11－8 大体大浪商
高田林 10－10 岸和田産
高石 19－15 登美丘
商大堺 31－6 泉北
和泉工 キケン 泉大津
堺東 11－9 岸和田
三国丘 16－8 東百舌鳥
▼3回戦
初芝 21－5 和泉
高石 15－14 富田林
商大堺 14－12 和泉工
三国丘 14－7 堺東
▼準決勝
初芝 21－5 高石
商大堺 10－9 三国丘
▼3位決定戦
高石 11－9 三国丘
▼決勝
初芝 17－10 商大堺
〈女子〉
▼1回戦
和泉 18－5 富田林
佐野 9－6 住吉学園
住吉商 20－3 岸和田
東百舌鳥 6－1 三国丘
岸和田産 12－3 貝塚南
鳳 26－1 久米田
堺東 25－2 高石
▼2回戦
初芝 27－6 和泉
住吉商 8－8 佐野
東百舌鳥 15－4 岸和田産
堺東 17－13 鳳
▼準決勝
初芝 29－4 住吉商
堺東 10－8 東百舌鳥
▼3位決定戦
東百舌鳥 11－11 住吉商
▼決勝
初芝 23－12 堺東

◆北ブロック予選
〈男子〉
▼1回戦
大阪学院 12－0 東淀工
箕面 15－5 箕面学園
桜塚 23－11 柴島
刀根山 15－11 西野田工
池田北 11－6 渋谷
豊中 4－3 北千里
東淀川 13－11 東豊中
大商学園 21－7 山田
▼2回戦
都島工 21－7 大阪学院
箕面 20－10 追手門
桜塚 14－5 市岡
刀根山 13－7 千里
桜宮 22－4 池田北
豊中 9－6 池田
北野 14－7 東淀川
北陽 19－14 大商学園
▼3回戦
都島工 21－8 箕面
刀根山 14－6 桜塚
桜宮 12－4 豊中
北陽 17－6 北野
▼準決勝
都島工 12－9 刀根山
北陽 11－10 桜宮
▼3位決定戦
桜宮 13－9 刀根山
▼決勝
北陽 12－9 都島工
〈女子〉
▼1回戦
豊島 12－0 薫英
金蘭会 18－9 東豊中
桜宮 20－1 市岡
▼2回戦
宣真 11－9 豊島
池田北 18－6 千里
東淀川 10－9 豊中
金蘭会 9－7 刀根山
成蹊 7－3 北野
梅花 15－6 池田
箕面 14－9 桜塚
桜宮 6－5 福島女子
▼3回戦
宣真 20－4 池田北
金蘭会 13－7 東淀川
梅花 11－10 成蹊
桜宮 15－8 箕面
▼準決勝
宣真 11－7 金蘭会
桜宮 15－4 梅花
▼3位決定戦
梅花 17－11 金蘭会
▼決勝
宣真 19－4 桜宮

◆中央大会
〈男子〉
▼1回戦
刀根山 14－7 春白山
此花学院 20－6 高石

桃山学院 16－8 西寝屋川
桜宮 15－11 商大附堺
北陽 18－6 三国丘
上宮 25－9 島上
初芝 13－4 天王寺
摂津 11－9 都島工

▼2回戦
刀根山 13－11 此花学院
桃山学院 17－9 桜宮
上宮 22－6 北陽
初芝 14－3 摂津

▼準決勝
桃山学院 16－4 刀根山
初芝 13－12 上宮

▼決勝
桃山学院 15（9－5、6－6）11 初芝

〈女子〉

▼1回戦
初芝 17－9 金蘭会
大谷 14－7 春日丘
門真南 8－7 信愛女
梅花 19－11 堺東
宣真 13－3 住吉商
阪南 10－7 寝屋川
四天王寺 21－2 枚方
桜宮 11－1 東百舌鳥

▼2回戦
大谷 13－9 初芝
門真南 11－8 梅花
宣真 9－6 阪南
四天王寺 16－4 桜宮

▼準決勝
大谷 10－9 門真南
四天王寺 10－3 宣真

▼決勝
四天王寺 15（8－2、7－4）6 大谷

中国

山口県高校選手権

（9月29、30日／下関中央工業高校ほか）

〈男子1部〉

▼リーグ戦
下松工 27－13 高水
岩国工 11－11 岩陽
下松工 18－16 岩陽
岩国工 12－9 高水
岩陽 22－10 高水
下松高 14－8 岩国工

〔順位〕①下松工②岩陽③岩国工④高水

〈男子2部〉

▼1回戦
下松 22－10 山口
徳山商 17－8 田部
華陵 21－3 宇部工
岩国 18－4 下関第一

▼2回戦
下松 27－10 聖光
徳山工 11－9 西京
下関中央工 28－2 防府西
徳山商 12－10 下関工
華陵 16－13 小野田工
徳山 16－10 下関西
防府商 21－16 早鞆
岩国 19－8 南陽工

▼3回戦
下松 17－8 徳山工
下関中央工 15－10 徳山商
徳山 26－8 華陵
岩国 22－12 防府商

▼準決勝
下関中央工 18－14 下松
徳山 17－16 岩国

▼決勝
下関中央工 18（10－9、8－5）14 徳山

〈女子1部〉

▼A組リーグ戦
岩国商 30－11 熊毛北
華陵 20－11 熊毛北
岩国商 17－12 華陵

〔順位〕①岩国商②華陵③熊毛北

▼B組リーグ戦
徳山商 28－22 高水
高水 22－10 徳山
徳山商 18－5 徳山

〔順位〕①徳山商②高水③徳山

▼3・4位決定戦
高水 17－14 華陵

▼1・2位決定戦
岩国商 21（13－10、8－8）18 徳山商

〈女子2部〉

▼1回戦
防府商 19－4 新南陽
防府西 8－6 田部

▼2回戦
岩陽 13－9 防府商
響 16－12 山口中央
西京 12－10 岩国
長府 24－1 防府西

▼準決勝
岩陽 28－13 響
長府 16－6 西京

▼決勝
長府 19（10－2、9－6）8 岩陽

鳥取県高校新人戦

（9月29日、10月5日／倉吉産業高）

〈男子〉

▼1回戦
米子北 17－14 米子東
境港工 33－2 倉吉工
境 31－5 倉吉東
米子西 17－12 境水産

▼2回戦
境港工 26－7 米子北
境 25－9 米子西

▼敗者復活1回戦
米子東 31－7 倉吉工
倉吉東 16－5 境水産

▼同2回戦
米子東 26－6 米子西
米子北 19－12 倉吉東

▼3位決定戦
米子東 18－12 米子北

▼決勝
境港工 27（14－3、13－6）9 境

〈女子〉

▼1回戦
米子南 12－0 倉吉産
米子東 14－9 米子西
境 49－0 倉吉西

▼2回戦
米子南 16－5 米子北
境 12－6 米子東

▼敗者復活1回戦
米子西 20－6 倉吉西

▼同2回戦
米子北 12－9 米子西
米子東 12－0 倉吉産

▼3位決定戦
米子北 15－3 米子東

▼決勝
境 33（16－3、17－4）7 米子南

各地の大会結果をお知らせ下さい

機関誌「ハンドボール」ではできるだけ多くの大会の結果をみなさんにお伝えしたいと願っております。誌面の都合上、なかなかいっぺんには掲載できませんが、必ず記録として残していきたいと思っております。

どうか大会が終了しましたらその結果を日本協会機関誌係にあて郵送くださるようお願い致します。

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第315号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成三年十一月二十六日 印刷
平成三年十二月一日 発行

東京都渋谷区神南一—一—一
電話 代表 (418) 二三六一
振替 東京 六—五八三四八番
編集兼発行人 安藤純光

定価三百五拾円
(年間購読料三千三百円)